

令和 7 年度

離島・過疎地域づくり DX 促進による
移住定住 PR 等事業委託業務
実施報告書

令和 8 年 3 月

沖縄県 企画部 地域・離島課

目次

1. 事業概要	
1-1. 事業目的.....	p.02
1-2. 事業構成・実施概要.....	p.02
2. 実施内容	
2-1. デジタル媒体等を活用した各種 PR の実施	
2-1-1. PR 動画及び記事の制作・発信	p.04
2-1-2. Web 媒体等への記事掲載および広告配信等	p.09
2-1-3. 地域ごとの実施内容詳細	
① 伊平屋村(集合型).....	p.11
② 久米島町(集合型).....	p.21
③ 多良間村(集合型).....	p. 32
④ 伊是名村(オーダーメイド型)	p.39
⑤ 大宜味村(オーダーメイド型)	p.49
2-2. 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築.....	p.62
2-2-1. 大宜味村での展開.....	p.64
2-2-2. 石垣市での展開	p.68
2-2-3. 宮古島市での展開.....	p.71
2-2-4. 総括.....	p.72
2-3. 関係人口等とのワークショップ等の開催.....	p.73
2-4. PR 等の効果検証.....	p.76
3. 事業全体総括	p.79

第1章 事業概要

1. 事業概要

1-1. 事業目的

成長著しいデジタル技術の活用は、離島・過疎地域の距離と時間の制約を解消し、地理的条件不利性の克服に繋がることが期待されている。沖縄県では令和4年度から「離島・過疎地域づくり DX 促進事業」として、高齢者等の見まもり支援等を実施し、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に取り組んでいる。

本事業においては、これらのデジタル技術の活用による移住定住条件の整備を促進したうえで、移住検討者が求めている情報を効果的に発信するため、デジタル広報によるプロモーション施策などを実施する。また、将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、リモートワーカーやワーケーション推進企業等を対象としたモニターツアーの開催や、先輩移住者を活用した相談・受入体制の構築を行うことにより、離島・過疎地域への移住定住の促進及び関係人口の拡大を図ることを目的とする。

1-2. 事業構成・実施概要

離島・過疎地域におけるデジタル技術を活用した移住定住プロモーションを展開するとともに、中短期滞在を通じた関係人口の創出や、先輩移住者を活用したきめ細やかな相談・受入体制を構築し、移住・定住の促進を図るため、以下の事業を実施した

- (1) デジタル媒体等を活用した各種 PR の実施
 - ① PR 動画及び記事の制作・発信
 - ② WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等
 - ③ 2地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施
- (2) 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築
- (3) 関係人口等とのワークショップ等の開催
- (4) PR 等の効果検証

第 2 章 実施内容

2-1. デジタル媒体等を活用した各種 PR の実施

2-1-1. PR 動画及び記事の制作・発信

離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者及び2地域居住実践者をモデルとした動画4本・記事4本の計8本を作成した。

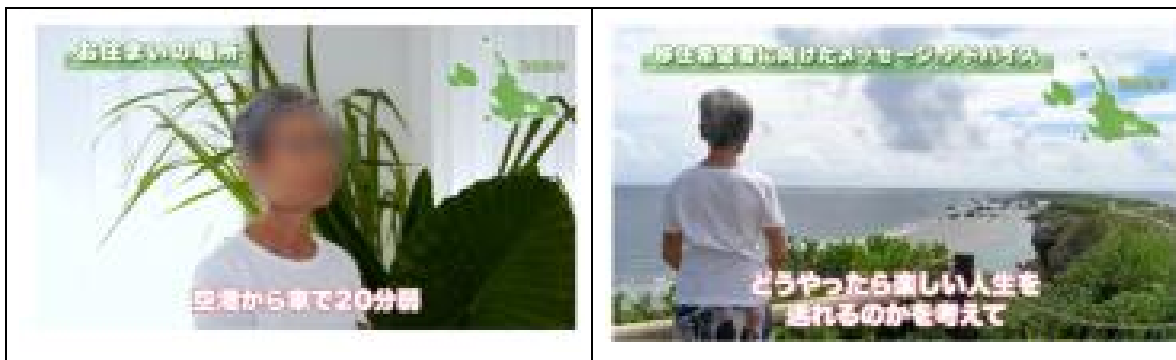
なお、作成に当たっては、過去に本事業および沖縄県移住・定住促進事業で実施している「先輩移住者インタビュー」で取り上げている地域以外の地域を中心に対象者を探し、再委託先や当該地域自治体等からの紹介などを通じて交渉を行った。取材対象は以下の通り。

	地域	氏名	動画／記事	紹介元
①	宮古島市城辺	A 氏	動画	アイランドコネクトより募集
②	竹富町西表島	B 氏	動画	アイランドコネクトより募集
③	南城市久高島	C 氏	動画	アイランドコネクトより募集
④	渡嘉敷村	D 氏	動画	渡嘉敷村役場より紹介
⑤	渡名喜村	E 氏	記事	渡名喜村役場より紹介
⑥	与那国町	F 氏	記事	与那国町役場より紹介
⑦	宮古島市伊良部島	G 氏	記事	弊社社員より紹介
⑧	座間味村座間味島	H 氏	記事	座間味村役場より紹介

(1) 取材概要及び記事内容

① 宮古島市城辺＜動画＞

- 取材概要
 - 名前： A 氏
 - 職業： ヨガ講師等
 - 取材日時： 9月18日(木)
- 動画内容(YouTube 公式チャンネル掲載抜粋)



② 竹富町西表島＜動画＞

- 取材概要
 - 氏名： B 氏
 - 職業： ツアーガイド
 - 取材日時： 10月2日(木)
- 動画内容(公式 youtube チャンネル掲載抜粋)



③ 南城市久高島<動画>

- 取材概要
 - 氏名: C氏
 - 職業: 海ぶどう農家
 - 取材日時: 12月8日(月)
- 動画内容(YouTube チャンネル掲載抜粋)



④ 渡嘉敷村<動画>

- 取材概要
 - 氏名: D氏
 - 職業: 渡嘉敷村役場勤務
 - 取材日時: 12月22日(月)
- 動画内容(YouTube チャンネル掲載抜粋)



⑤ 渡名喜村<記事>

- 取材概要
 - 氏名: E 氏
 - 職業: 渡名喜村観光協会勤務
 - 取材日時: 12月12日(金)
- 記事内容(おきなわ島ぐらし掲載抜粋)

 <p style="font-size: small;">取材日時: 2023年12月12日</p> <p>渡名喜島ならどけの地城を大切にしながら、ご自身の生活を謳歌する</p> <p>渡名喜島在住 E さん</p> <p style="font-size: x-small;">渡名喜島は、2019年10月に開港して以来、観光客が訪れるようになった。観光客が増えるにつれて、島の魅力を伝えるための取り組みが活発化している。Eさんは、渡名喜島観光協会に勤務し、島の魅力を伝えるための取り組みに力を入れている。Eさんは、島の魅力を伝えるための取り組みに力を入れている。Eさんは、島の魅力を伝えるための取り組みに力を入れている。</p>	 <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p> <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p> <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。渡名喜島の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p>
---	---

⑥ 与那国町<記事>

- 取材概要
 - 氏名: F 氏
 - 職業: 漁業者
 - 取材日時: 1月19日(月)
- 記事内容(おきなわ島ぐらし掲載抜粋)

 <p style="font-size: small;">取材日時: 2024年1月19日</p> <p>日本最西端の島で、漁業と付帯を大切にしながら自身の人生を謳歌する</p> <p>与那国町在住 F さん</p> <p style="font-size: x-small;">与那国町は、2019年10月に開港して以来、観光客が訪れるようになった。観光客が増えるにつれて、島の魅力を伝えるための取り組みが活発化している。Fさんは、与那国町の漁業と付帯を大切にしながら、自身の人生を謳歌している。Fさんは、与那国町の漁業と付帯を大切にしながら、自身の人生を謳歌している。Fさんは、与那国町の漁業と付帯を大切にしながら、自身の人生を謳歌している。</p>	 <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p> <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p> <p>——取材の準備ができています。</p> <p>この取材は、与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。与那国町の魅力を伝えるための取り組みの一環として行われています。</p>
--	---

⑦ 宮古島市伊良部島<記事>

- 取材概要
 - 氏名: G 氏
 - 職業: 漁業者
 - 取材日時: 1月19日(月)
- 記事内容(おきなわ島ぐらし掲載抜粋)



⑧ 座間味村座間島<記事>

- 取材概要
 - 氏名: H 氏
 - 職業: 座間味村役場職員
 - 取材日時: 1月26日(月)
- 記事内容(おきなわ島ぐらし掲載抜粋)



(2) 動画・記事の投稿・広告

- 投稿
 - 投稿媒体: おきなわ島ぐらし、および Facebook、X(旧 Twitter)

<投稿例>



● 広告

- 広告媒体: おきなわ島ぐらしおよび Facebook、Instagram
- 実施期間合計: 令和 8 年 2 月 4 日(水)~3 月 4 日(水)、3 月 6 日(金)~3 月 10 日(火)
- リーチ数合計: 77,195
- クリック数(一部はランディングページビュー数)合計: 4,527

<広告例>



2-1-2. Web 媒体等への記事掲載および広告配信等

沖縄県ではデジタル技術を活用した移住定住条件の整備として、高齢者の見まもり支援サービスの導入補助を実施している。

実施企業である株式会社おきでん CplusC と連携し、取材先の調整等を行い、記事作成・Web 媒体（おきなわ島ぐらし）への掲載、SNS 広告の実施を行った。

(1) 取材先

M 氏:みまもりサービス「やさしいみまもり」利用者(子:那覇市在住)

T 氏:みまもりサービス「やさしいみまもり」利用者(親:大宜味村在住)

S 氏:株式会社おきでん CplusC(運営企業)

※取材先については運営企業からの推薦、紹介により決定

(2) 取材日時

2025 年 7 月 16 日(水) 13:00~14:00

場所:T 氏住居(大宜味村)

(3) Web 媒体への掲載

掲載先:沖縄県移住応援サイト おきなわ島ぐらし

掲載日:2025 年10月 2 日(木)

<掲載記事抜粋>





(4) SNS 広告の実施

おきなわ島ぐらしの Facebook アカウントがフォロワー数 3,000 超であることから、メディアとしての価値が高いと判断し、当該アカウントでの発信内容を宣伝した。

① おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook(含む Instagram)上での広告

- ◇ 年齢：30～65 歳
- ◇ 居住地：日本
- ◇ 期間：令和 8 年 2 月 4 日～令和 8 年 2 月 25 日(21 日間)
- ◇ リーチ数：13,395 ランディングページビュー数：657



② おきなわ島ぐらしを利用した X(旧 Twitter)での投稿



2-1-3. 地域ごとの実施内容詳細

現在居住している地域とは別に、県内の離島・過疎地域における中短期滞在を通じて田舎暮らしを体験し、地域への愛着を醸成することで、将来的な移住につながる関係人口の創出を目的として、リモートワーカーやワーケーション推進企業等を対象に、二地域居住の促進を図るモニターツアーを下記5地域にて開催した。

<モニターツアー開催地域>

- ① 伊平屋村(集合型)
- ② 久米島町(集合型)
- ③ 多良間村(集合型)
- ④ 伊是名村(オーダーメイド型)
- ⑤ 大宜味村(オーダーメイド型)

① モニターツアー(集合型) 伊平屋村

(1) 実施概要

実施期間	2025年11月22日(土)～24日(月・振替休日)
テーマ (募集内容)	おきなわ伊平屋島 ハルサーと島ぐらし体験プログラム
参加者数	2組2名
参加者属性	性別:男性2名/居住地:大阪府1名、沖縄県1名 年齢:30代1名、60代1名
運営	地域コーディネーター:1名、事務局:1名

(2) 募集告知

- おきなわ島ぐらしを利用した、HP および Facebook 上での告知
告知期間: 令和7年9月4日(木)～令和7年10月27日(月)



- おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook 上での広告
 - 年齢:22~55 歳
 - 居住地:日本
 - 興味・関心: 持続可能な農業(農業)または農業(産業)、業種: 農業、漁業、林業 かつ 田舎または島
 - 期間:令和 7 年 9 月 12 日~10月17日(うち計60日間)
 - リーチ数:109,900 クリック数:2,522



- SMOUT を利用した告知
 - スマウト <https://smout.jp/>
 - 運営会社:株式会社カヤック
 - 掲載期間:令和 7 年 10 月 1 日~令和 7 年 10 月 27 日
 - 「興味ある」数:20 人
 - 返信あり:8 人



(3) プログラム詳細

<1日目> 11月22日(土)

10:30 運天港集合、フェリーにて伊平屋へ

…1名は前日に伊平屋村に入っているため、運天港で1名と合流し、フェリーいへやに乗船。12:20に伊平屋島前泊港に到着。もう1名の参加者、地域コーディネーターと合流。

昼食をとりつつ、オリエンテーションを実施。農作業ができる服装に着替えて、畑へ移動。

14:00 タマネギの植え付け体験@我喜屋区

…我喜屋区の農家さんの指導のもと、玉ねぎの植え付け体験を開始。このために伊平屋村のタマネギ栽培の歴史や植え付け方のマニュアルを作成して下さっていた。

途中で、一昨年の移住体験ツアーに参加し、伊平屋村に移住されたご家族と嬉しい再会、一緒にタマネギの植え付けに参加。



16:00 腰岳展望台へ

…タマネギ植え付け体験を終え、長靴姿のまま移動して伊平屋島がほぼ一望できる腰岳展望台へ。その後、植え付け体験を指導して下さった農家さん宅へ移動して、しばし歓談。

宿泊する民家宅にチェックインしてから、明後日お世話になる農林水産課の職員の方も加わっての懇親会。



<2日目> 11月23日(日)

9:00 稲刈り体験@我喜屋区

…民家宅で朝食をとった後、我喜屋区の田んぼに移動して稲刈り体験。広い田んぼの一角を鎌で刈りとり、手作業の大変さも体験。さらにコンバインでの脱穀、コンバインの試乗、精米機での精米も体験。最後には精米したてのおコメをいただく。





13:30 田芋の植え付け体験@前泊区

…稲刈りの後、午前中の島めぐりツアーで島尻から野甫島へ。野甫大橋から青く美しい米崎の海を眺める。島尻のカフェで昼食をとった後、前泊区の畑へ。

農家さんから丁寧に指導をいただいて、まずは種芋となる芋の切り分け作業から始まり、それが済むと畑の畝にまっすぐに田芋を植え付けていく。





15:30 島めぐりツアー

午後の島めぐりツアーで、念頭平松、クマヤ洞窟、有人離島最北端の伊平屋島灯台、クバ山を回って、潮下浜を巡る。日も暮れて再び前泊の民家宅へ。





<3日目> 11月24日(月)

9:30 伊平屋村役場

…民家宅をチェックアウトし、伊平屋村役場へ。役場で農林水産課職員から、伊平屋村の概要、農林水産業の概要、農業者に対する村の助成事業やサポート体制について資料に基づき丁寧な説明を受ける。参加者からも積極的な質問が続く。続いて、振り返りのワークショップを実施した。

※ワークショップの詳細は「P.81 2-3. 関係人口等とのワークショップ等の開催」を参照されたい。



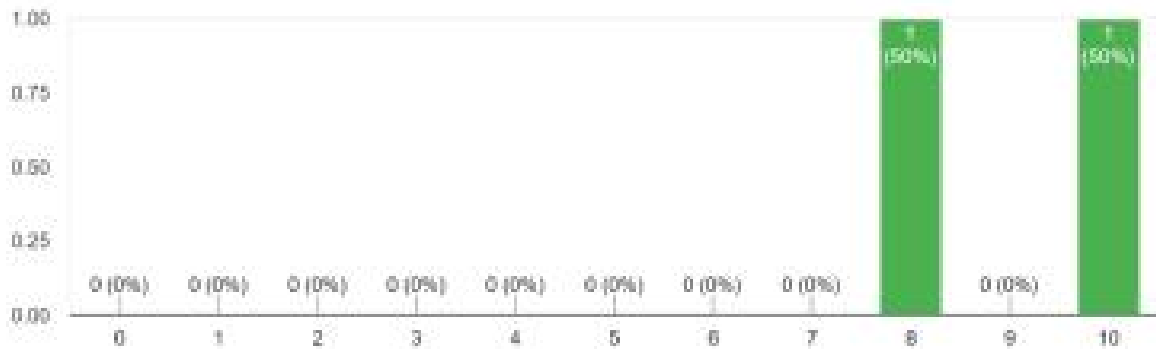
13:00 フェリーにて帰路

…前泊区の沖縄そば屋で昼食をとり、港近くのヒラメ等の陸上養殖施設を見学。役場職員の見送りを受け、前泊港からフェリーに乗り運天港へ向かう。



(4) 事後アンケート集計

1. 今回のツアーの満足度はいかがでしたか？0(大変不満足)～10(大変満足)の段階で表してください



2. 上記の評価の理由をご記入ください

- 気持ちは 10 ですが、移住の確率が必ずしも高くなく、申し訳なくてマイナス 2
- 島の生活が明確な部分見えたから

3. 農業体験をしてみていかがでしたか？ 感想をお聞かせください

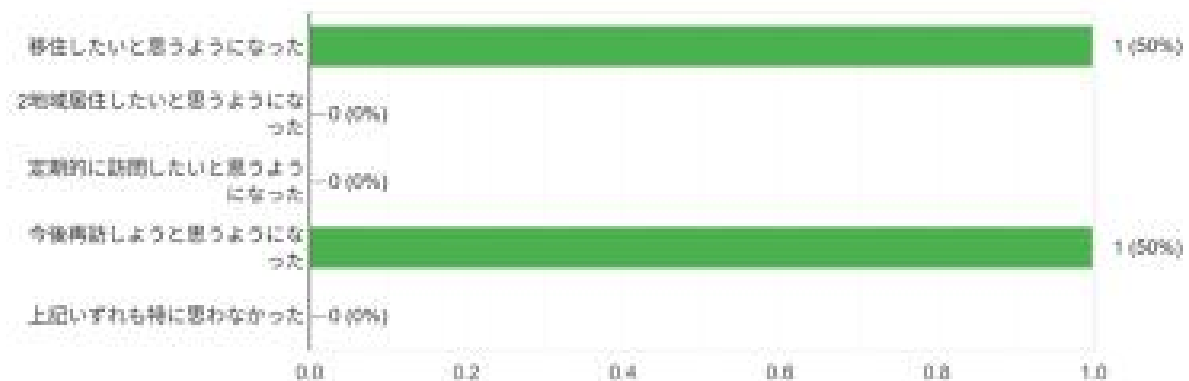
- それぞれに準備をしていただき、丁寧に説明してもらえてよかった。工夫があることを理解できた。田芋の植え付けで大変さの一端を知れて良かった。機械化や無農薬栽培など持続可能になるよう努力され、しかも自分だけでなく、普及の筈を考えておられるのが印象に残った。
- 稲刈り体験／午後：田芋の植え付け体験で 課題も明確にわかったから、満足 ！

pp

4. 村の農業従事者に対するサポート体制の説明を聞いていかがでしたか？

- 制度を理解できて良かった。高齢になると助成の対象から外れるのは仕方ないかなと思った。
- 課題は多いなあと思った。(自治体も)そやし(若者がどう関われば良いのか?) 現地の農家さんも大変やと思った。ツアーの段取りも事前にやっているのに、ツアーにもっと若者が参加するべきだとも思った。

5. 今回のツアーで、移住もしくは 2 地域居住したいという気持ちになりましたか？



6. 上記の理由をご記入ください

- 豊かな自然に触れることができ、ゆっくり訪ねたいと思った。
- 憧れだけじゃ難しいし本気で移住したのなら現地の人達と関わるべきだと思った。積極的に、(ツアー通して最初は) 僕も やりたいことも見えて来たかなあと思いました。課題も僕に対する、、課題も、!

7. 今回のツアーについて、ご感想や特に良かった点、気になった点などありましたら、ご自由にご記入ください

- 教育関係での移住の可能性をぼんやりだけど知ることができてよかった。
- 伊平屋村に関わりがある人達と話せて農業体験出来たこと!

8.事務局や沖縄県への要望等がありましたらご記入ください(任意)

- すばらしいコーディネートをありがとうございました。
- 若者が関わる ツアープラン あったら良いなあ 考えていました。きっかけが本間に大事やと 僕も気がついたし、SNS での宣伝の仕方も力入れても良いのじゃないかと思いました。

(5) プログラム総括

- 参加者は 2 組 2 名と少なかったが、その分、濃厚なプログラムとなった。(島の農業者サポートに上限年齢があり、そのため辞退される方もいた。) 特に地域の農家の方の懇切丁寧なご指導をいただきながら、タマネギの植え付け、稲刈り(脱穀、精米まで体験できた)、田芋の植え付けと、様々な農業体験を受けることできた。伊平屋村の農業の実際に触れられる貴重な体験であったと思われる。
- 3 日目には伊平屋村役場の農林水産課から、村の概要から始まり、島で行われている農業の全体像、役場からの助成やサポート体制など、整理して体系的に伺うことができ、伊平屋島で農業を実践することの体験と知識の両面から、学び、体感することができた。
- 農業体験の合間には、農家さん宅を訪れて、お酒を酌み交わしながら、交流を深め、暮らしの一端に触れることもできている。参加者の宿泊先も民家宅であり、そこでもたくさんの美味しい食事とともに、地域の方と交流する機会を持っている。
- 参加者のアンケートからも、プログラムの満足度が高かったことが伺える。若者がもっと参加するべきという意見もいただき、今後何らかの形でこれからの伊平屋の農業を支える若者世代にリーチするプログラムを進めていく必要も感じられた。

2-1-3 ② モニターツアー(集合型)_久米島町

(1) 実施概要

実施期間	2025年12月5日(金)～7日(日)
テーマ (募集内容)	あなたが思い描く「農と共にある暮らし」は？ ～久米島・未来デザインの旅～ 3つのリアルな農業体験が未来のあなたへ続く道になる
参加者数	5組5名
参加者属性	性別:男性3名、女性2名 居住地:埼玉県1名、神奈川県1名、愛知県1名、石川県1名、沖縄県1名 年齢:20代1名、40代1名、50代3名
運営	ローカルパートナー:1名、事務局:1名

(2) 募集告知

- おきなわ島ぐらしを利用した、HP および Facebook 上での告知
告知期間: 令和7年10月14日(火)～令和7年11月24日(月)



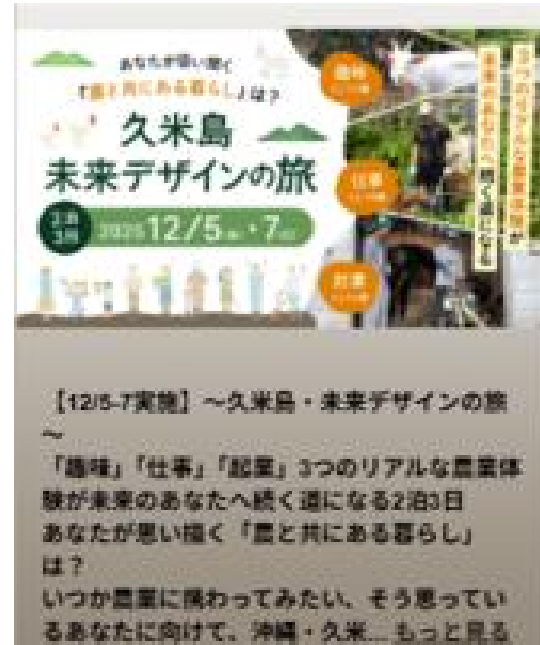
- おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook 上での広告
 - 年齢:22～50 歳
 - 居住地:日本
 - 興味・関心: 持続可能な農業(農業)または農業(産業)、業種: 農業、漁業、林業 かつ 田舎または島
 - 期間①
:令和7年10月18日～10月28日(10日間)
リーチ数:13,418 閲覧者数数:7,879
 - 期間②
:令和7年10月30日～11月1日(2日間)

リーチ数:3,579 閲覧者数数:2,792

➤ 期間③

:令和7年11月7日~11月24日(17日間)

リーチ数:49,579 閲覧者数数:21,255



● SMOUT を利用した告知

➤ スマウト <https://smout.jp/>

➤ 運営会社:株式会社カヤック

➤ 掲載期間:令和7年10月21日~令和7年11月9日

➤ 「興味ある」数:8人

➤ 返信あり:6人



(3) プログラム詳細

<1日目> 12月5日(金)

14:00 オリエンテーション 場所:あじま一館

…初日は、オリエンテーションからスタート。参加者5名と、見学として参加者の知人である久米島在住の L さんも1日目のみ参加。オリエンテーションでは、スタッフ含め全員の自己紹介のあと、ローカルパートナーから行程説明、事務連絡、またツアー中の注意事項について説明。また3日間を通して、島の人の、参加者同士、交流を積極的に図ってほしい旨を伝えた。



14:30 第1の視点 趣味農体験～日常の中の「農的生活」に触れる～

…字久間地へ移動。

ローカルパートナーが飼育しているヤギとニワトリと、借りている畑を見学。また飼育小屋と畑の所有者である N さんと交流を図った。ローカルパートナーからヤギやニワトリの生態などについて説明を受けながら、産まれて1カ月の子ヤギなど動物たちとの触れ合いを体験。畑ではローカルパートナーから、借用の経緯や、趣味で育てている作物のこと、赤土流出防止のために植えているベチバーのこと、また堆肥づくりなどについて説明があった。





…字仲地の棚田に移動。

耕作放棄地となっている田んぼでの活動についてローカルパートナーから説明。久米島は水が豊富なこと、以前は米作りも盛んであったこと、常に田んぼには水が張られている状況での作業の大変さなど、また、今後この場所で生産者としてではなく、観光目的の「田んぼ体験」の企画を考えていることについての話があり、参加者は興味深く聞いていた。

1日目のみ見学で参加された久米島在住のLさんからは「住んでいても農家さんとのつながりがなかった」「このようなプログラムがあることを知らなかった」などの感想があった。





16:00 一時解散 交流会までフリータイム
19:00 参加者交流会 場所:居酒屋武吉
21:00 解散

<2日目> 12月6日(土)

9:00 第2の視点 一次産業農業～がっつり農作業体験～
…字具志川集合。

農家のYさんと合流後、畑へ移動。沖縄の土産品としても有名な「紅いもタルト」の原材料となる加工用の紅芋(美ら恋紅)の畑にて農作業体験。収穫、蔓刈りなど、普段はYさんひとりでの作業と聞き、参加者は驚きながら、汗を流した。





…次の畑へ移動途中、Yさんの知人のヤギへ餌やり。農薬の心配のない芋の蔓や葉を直接手から食べさせた。



…じゃがいも畑へ移動。

幅広い知識と経験を持つ Yさんから、先ほどの紅芋畑との土の違い(国頭マージ、島尻マージ)など教えていただきながら、じゃがいも畑の際に植えられている無農薬栽培の「からし菜」を各自で収穫し、お土産としていただいた。参加者にとって島での農ある暮らしを身近に感じる体験となった。





10:30 一時解散 昼食までフリータイム

12:00 昼食 場所:笑島

…昼食時間より「島ぐらしコンシェルジュ」のHさんとMさんが合流。

久米島特産の車エビを使った沖縄そばなどを楽しみながら、これまでのプログラム振り返りや情報交換を行った。



13:30 第3の視点 六次化産業農業～島の未来を創るビジネスを体験～

…アーラ浜駐車場へ移動。

無農薬でさとうきび栽培と黒糖づくりを行っている Ysさんと合流。手作業でのきび刈り、刈りとったさとうきびからの黒糖づくりでは、燃料の薪集めから行っているという、Ysさんの暮らし方や生き方が反映されている黒糖づくりについての話を参加者は熱心に聞いていた。また刈りたてのさとうきびの甘さに驚いたりしながら、全員が熱中してきび刈りを行った。



※工房での黒糖づくり体験は Ys さんの都合によりキャンセルとなった

14:40 一時解散 島の方たちとの交流会までフリータイム

19:00 交流会 場所:久間地公民館

…フリータイムをはさみ、夜は、久間地公民館に集合。今回お世話になった農家の Y さん、Ys さんはじめ、さとうきび農家の N さん、海洋深層水でのカキ養殖に携わっている O さん、4名の地域の方たちと交流を深めた。



21:30 解散

<3日目> 12月7日(日)

8:30 振り返りワークショップ 場所:久米島ホテルドーム グラウンド脇東屋

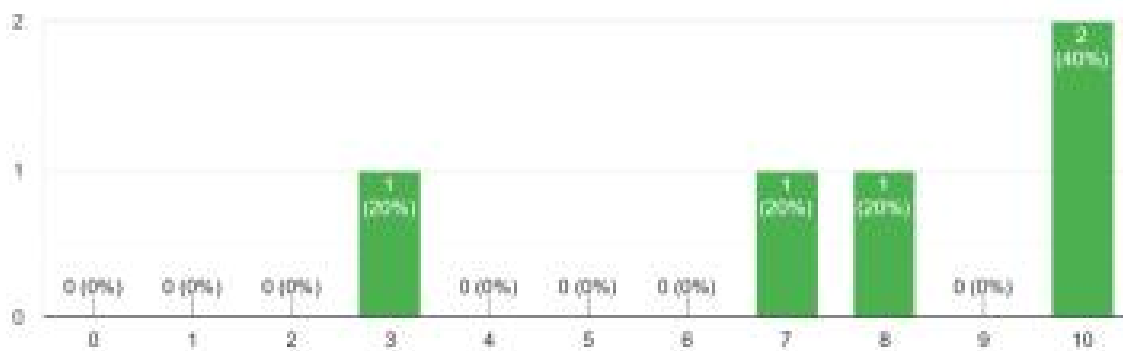
…久米島町産業まつりの会場となる久米島ホテルドームに集合。参加者とスタッフ、また島ぐらしコンシェルジュの H さんと M さん、移住予定者の K さんがオブザーバーとして参加。今回のツアーの振り返りを行った。※ワークショップの詳細は「P.81 2-3. 関係人口等とのワークショップ等の開催」を参照されたい。

9:30 解散

…全プログラム終了。各自、久米島町産業まつりを見学。それぞれ帰路に就く。

(4) 事後アンケート集計

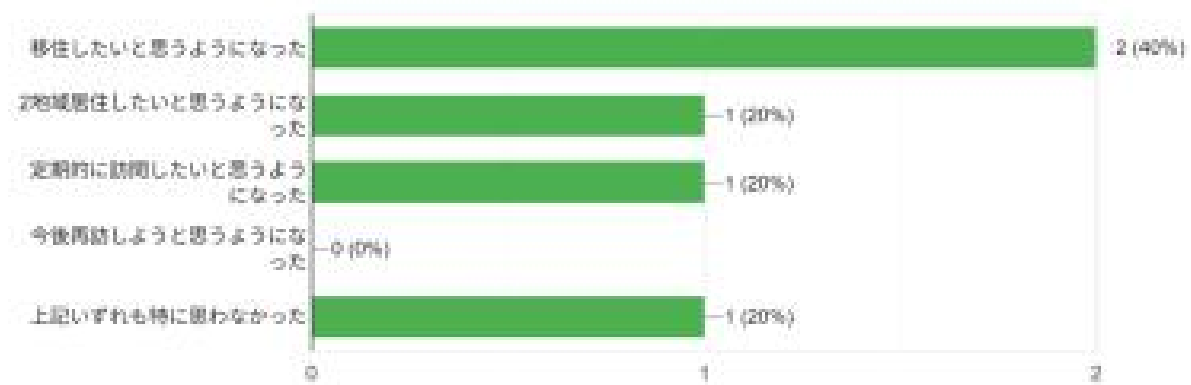
1. 今回のツアーの満足度はいかがでしたか？0(大変不満足)～10(大変満足)の段階で表してください



2. 上記の評価の理由をご記入ください

- 今回応募した1番の目的であった『6次産業化体験』の『サトウキビから黒糖を作る事業者を訪ね、生産、加工、販売の各部門を一部ずつ体験。』について大幅にカットされ、1次産業体験しか出来なかった事が大変残念。農業体験等で宿泊費や現地での移動が提供されるツアーなら許されるかもしれないが、全て自腹で学びを求めて来た人に対して敬意を欠いていると言わざるを得ません。“開催側にとっては経験済みであり、他の日に触れる事のできる日常の範囲”かもしれないが、“体験したい側にとっては今回限りのチャンスである”かもしれないという事を肝に銘じておくべきです。ただ、Yさんと話す機会があった事が救いになっていました。具体的に久米島で育てたい作物のイメージがある人にとっては、Yさんと話せる機会はスペシャルな事だと思うので、今後も協力をお願いした方が良く考えます。
- おきなわ島ぐらしの募集要項の体験内容に『新しい農業の形でもある6次産業化を成功させている、サトウキビから黒糖を作る事業者を訪ね、生産、加工、販売の各部門を一部ずつ体験』と記載されていましたが、さとうきび刈りのみとなってしまったのが残念です。口頭での説明(加工、販売)はありましたが... 加工にも興味があったので。この点は、他の参加者の方もおっしゃっていました。
- 様々な方との交流があり、みなさんの受け入れていただく心が広く感動しました！
- 移住希望の方、移住された方、島の方などたくさんの出会いがあり、初めてサトウキビを狩ったり普段ではできない体験をさせていただき、本当に楽しい時間でした。
- もう少し作業や見学(黒糖工房)を体験したかったため

3. 今回のツアーで、移住もしくは2地域居住したいという気持ちになりましたか？



4. 上記の理由をご記入ください

- 移住を基本線に考えていますが、今回のツアーで久米島への想いが強くなったとは思えないので、この評価となりました。今後は、移住先を探している人に「久米島がいい」と思わせるようなツアー作りをしていって欲しいと思います。
- 体験、食事会を通じて色々な方と交流もあり、島の良さを改めて感じるコトが出来ました。
- 今回出会った方々と今後、より関係性を築いていきたいと思いました。
- 久米島の規模や雰囲気が私のイメージにピッタリで理想的な場所でした。
- 今回の旅行で島内に知り合いができたので

5. 今回のツアーにご参加いただき、農ある暮らしをご自身のライフスタイルに取り入れられそうだと思いますか？具体的に感じたことをお聞かせください。

- 料理が好きなので、移住後は農家さんにアドバイスをもらいながら自分用の作物を作りたいと思います。
- なかなか農作業を体験できる環境ではないので取り入れるのは難しいと思いますが、環境が整えばチャレンジしてみたいです。
- 祖父の土地を利用して農業をやりたいと思いました。
- 農家さんで働きたいと思っていますが、別の仕事をしながら自分のペースで農業に携わるのもいいのかなぁと思いました。ヤギやニワトリも飼いたいです！

6. 久米島での暮らしを検討する上で、今回のツアーで特に解消された不安や疑問点はありますか？

- 特にありません。
- 島の皆さんが、農業のコトだけでなく色々とお話を聞いて下さり提案などをしていただいたので、特にありませんでした。
- 島民の方と関係性を築けたことが良かったです。
- 住居がなかなか借りられない点。

7. 今後、久米島への移住・再訪につながる次のステップとして、期待する情報提供やサポートがあればご記入ください。

- 農業以外の分野についても情報があれば聞いてみたいです。
- 島民の方との交流の場が必要かと思います。

- まずは自分に合った家を見つけたいので、情報があるとたすかります。
- 住居のハードルが下がれば良いと思いました。

8. 今回のツアーについて、ご感想や特に良かった点、気になった点などありましたら、ご自由にご記入ください。

- 最初の回答に記載しました。
- 参加者の皆さんが目的意識をしっかりと持ち、真剣に取り組んでいたのが良かったと思います。交流会も良かったです。体験道中の個人移動は、気になりましたが...
- 本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました！そして移住を考える方と懇親会でお話できて、同じ悩みがあることが知れてよかったと思います。
- 島内の農に関わる方たちの話をお聞きできたことが、普通の旅行では体験できないことでとても良かったです。ありがとうございました。

9. 事務局や沖縄県への要望等がありましたらご記入ください(任意)

- 協力してくれる農家があるならば…の話ですが、農家の1週間体験プログラムがあったら来たい人はいると思います。宿泊と現地の移動は無料提供が望ましいですが、食事は自費でいいと思います。沖縄県の“島まる”にも言える事ですが、沖縄のポテンシャルを低く見ている気がします。観光で訪れて沖縄の美しさや人々の温かさに触れ、「自然を守りたい」「漂着ゴミを片付けたい」「人々に恩返ししたい」と強く思っている人はたくさんいます。移住を受け入れるうえで、“終の住処として選ぶ人”よりも“沖縄を愛している人”を中心に考えた方が良くと思うので、もう少し踏み込んだ活動に関与させるのが良いのではないのでしょうか。
- ツアーなど参加確定したら、早めに具体的な行程を送って欲しいです。また変更点など。

(5) プログラム総括

- 1日目に、参加者の知人である久米島在住の方が見学で参加。ツアー中、島在住者でも知らなかったこと、久米島の以前の様子などの話を聞くことができ、このような島内外の方が一緒に体験するツアーも、交流の場づくりとして新たな視点をいただく機会となった。
- 参加者事後アンケートでは、『もう少し作業や見学(黒糖工房)を体験したかった』、『六次化産業でさとうきび刈りのみになってしまい残念』などの回答があり、プログラムの一部キャンセルは、満足度を下げる大きな要因となった。キャンセルとなった黒糖工房での作業や販売については、口頭のみでの説明となり、体験の代替提案などに至らず、参加者視点での対応が不十分となってしまったことは反省する点である。
- 本ツアーを通して、参加者の農業への関心度の高さを知る機会となり、今後、『移住』と『農業』をキーワードにした企画も引き続き検討することが求められる。

2-1-3 ③ モニターツアー(集合型)_多良間村

(1) 実施概要

実施期間	2026年2月21日(土)~23日(月)
テーマ (募集内容)	島の人と語り、働く・暮らすを考える旅 多良間島“しごと移住”体験プログラム ~農・福・観の現場で未来を描く3日間~
参加者数	3組3名
参加者属性	性別:男性1名、女性2名 居住地:静岡県1名、大阪府1名、広島県1名 年齢:50代3名
運営	ローカルパートナー:1名、事務局:1名

(2) 募集告知

- おきなわ島ぐらしを利用した、HP および Facebook 上での告知
告知期間: 令和7年11月5日(水)~令和8年1月23日(金)



- おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook 上での広告

<1回目>

- 年齢:22~55歳
- 居住地:日本
- 興味・関心: 田舎 かつ 島
- 期間:令和7年11月7日~12月27日(50日間)
／令和7年10月30日~11月9日(10日間)
- リーチ数:131,000 クリック数:1,897

<2回目>

- 年齢:18~65歳
- 居住地:日本
- 興味・関心: 島 かつ 地域社会の問題(法律・政府・公的機関)または田舎、業種: 地域福祉・社会福祉

- 期間:令和 8 年 1 月 5 日~1 月 25 日(20 日間)
- リーチ数:92,775 クリック数:2,081



- SMOUT を利用した告知

- スマウト <https://smout.jp/>
- 運営会社:株式会社カヤック
- 掲載期間:令和 7 年 12 月 10 日~令和 8 年 1 月 31 日
- 「興味ある」数:13 人
- 返信あり:4 人



(3) プログラム詳細

<1日目> 12月5日(金)

17:00 オリエンテーション 場所:すまむぬ多良間

…参加者全員が揃った上で、オリエンテーションを実施。スタッフ含め全員の自己紹介のあと、ローカルパートナーから行程説明、事務連絡、またツアー中の注意事項について説明。



18:00 一時解散 交流会までフリータイム

19:00 参加者交流会 場所:居酒屋ビッグ

21:00 解散

<2日目> 2月22日(日)

9:00 「島の日常」案内ツアー

…夢パティオたらまに集合後、集落を巡った。沖縄風水に基づいた集落の成り立ちが確認できることや、集落内の空家の状況、買い物施設・公共／生活施設の場所の確認、ふるさと民俗学習館の見学などを行い、多良間村を多面的に理解する機会となった。





12:00 昼食@すまむぬ多良間

13:00 先輩移住者(観光従事者)のヒアリング@COCO ハウス

…先輩移住者で、観光の仕事(民宿の食事提供)に従事されている K さんから、移住までのストーリーや現在の暮らし方についてお話を伺った。



14:30 先輩移住者(農業従事者)のヒアリング@島内の圃場、すまむぬ多良間

…先輩移住者で、農業の仕事(畑作)に従事されている Y さんに、自身が耕している農場のご案内をいただいた。その後すまむぬ多良間に移動し、改めて Y さんから移住までのストーリーや島での暮らしの実態などを伺った。



16:00 先輩移住者(福祉・公務従事者)のヒアリング@すまむぬ多良間

…先輩移住者で、公務員として役場で働いている Oさんと、保健士として働いている Sさんに、ご自身の移住までのストーリーや公的な仕事をするメリット、島での生活状況等についてお話を伺った。



17:00 一旦解散

18:00 島民との交流会@波平氏事務所

…お話を伺った先輩移住者の方々、および観光協会で働く移住者の Tさんと交流会を行い、日中では聞きづらかったリアルなお話を伺った。



<3日目> 2月23日(月・祝)

9:00 プログラム振り返りワークショップ@すまむぬ多良間

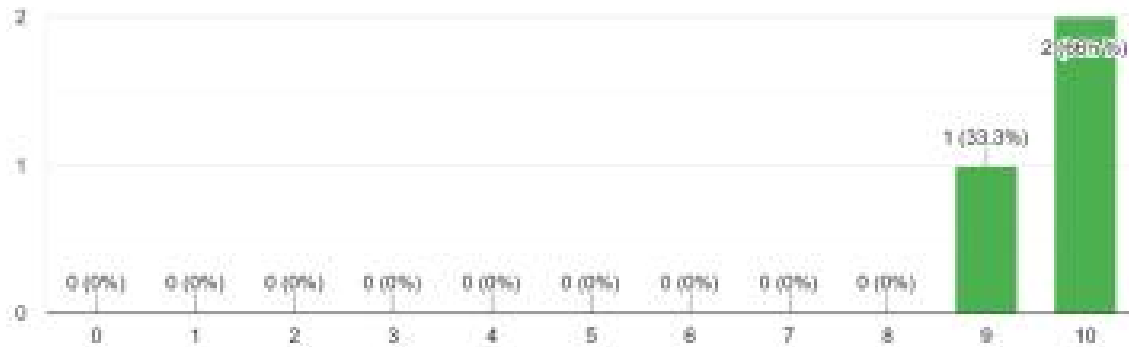
…参加者3名とローカルパートナーのみで、この3日間のプログラムについて振り返りを行った。

※ワークショップの詳細は「P.81 2-3. 関係人口等とのワークショップ等の開催」を参照されたい。

11:00 解散、各自帰路へ就く。

(4) 事後アンケート集計

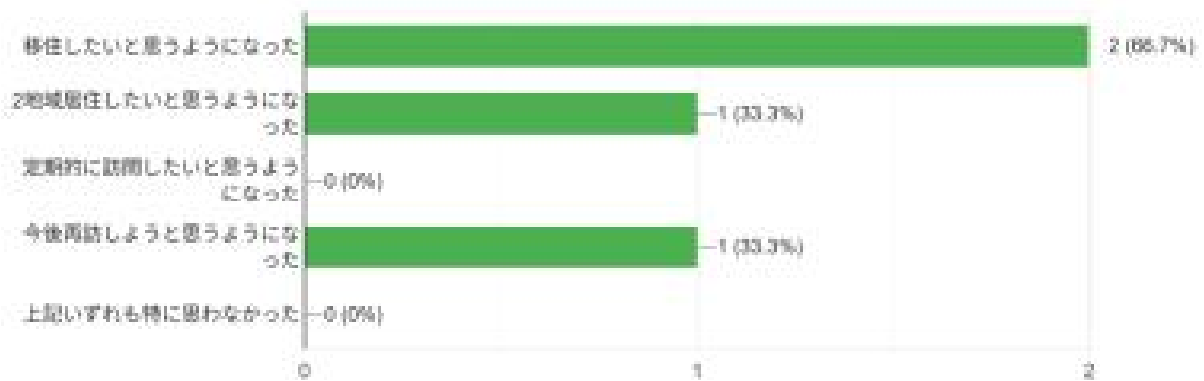
1. 今回のツアーの満足度はいかがでしたか？0(大変不満足)～10(大変満足)の段階で表してください



2. 上記の評価の理由をご記入ください

- 島の現在をリアルに伝えてくれた おもてなしの気持ちが伝わりました
- 移住した人だけでなく、地元の人とももっと交流してみたかった。
- 観光とは違う視点で村の状況を知ることができた

3. 今回のツアーで、移住もしくは2地域居住したいという気持ちになりましたか？



4. 上記の理由をご記入ください

- 観光地では無いところが私には魅力的
- 住むところと仕事があれば、生活出来そう。
- 一度に移住は難しいと思った。移住者の話が聞けたことでずっと住むことになれば拘束されることも多くなると感じた。

5. 今回のプログラムについて、ご感想や特に良かった点、気になった点などありましたら、ご自由にご記入ください

- リアルな島生活が訪れる事で移住や仕事など明確にイメージできる
- 地元の料理を出すお店が無かったのが残念だけど、地元の家庭料理が食べられたのが良かった。
- 町を歩くことでゆっくり集落を見ることができた。

6. 事務局や沖縄県への要望等がありましたらご記入ください

- 移住の為に住居や仕事の内容を今後よりいっそう充実したものにしていきたい 因みに私は仕事はなんでもいたします

(5) プログラム総括

- 参加者募集に苦慮し、最終的には3名と他ツアーと比べ少ない人数となった。航空券が高止まりしていることや、飛行機を乗り継ぐ必要があり到着まで時間がかかることなど、アクセスの困難さが影響した可能性と、ピンポイントで職業を絞った展開自体が広範な方には伝わりづらかったと考えられる。
- 最終日のワークショップや、参加者事後アンケート内容等に鑑みると、プログラムとしては大変効果が高いものであったと言える。ただ多良間島まで自費で来訪する方というのは元々それなりに強い意志を持っていることも考えられるため、本プログラム自体の寄与を正確に測るという点では本来事前・事後の状況変化を具に追う必要はある。ただし結果的に他地域のプログラムと比較しても非常に高い島への帰属意識が見受けられており、今回のプログラム自体の効果は高かったと考えられる。
- 今後の課題としては、より若い世代へのリーチをどう検討していくか、また一朝一夕に住宅問題が解決しない以上、関係人口としての「関わりしろ」をどれだけ島側が用意できるか、という点になると思われる。

2-1-3 ④ モニターツアー(オーダーメイド型)_伊是名村

(1) 実施概要

- ツアータイトル: 旅の、その先へ。故郷にしたい島に「通い」「暮らす」ため、一步踏み込んだ新しい繋がりを探ろう! 「オーダーメイド型」伊是名島ぐらし体験プログラム
- 地域コーディネーター: 1名
- 日時: 令和7年9月29日~令和8年2月23日 計4回実施

	日程	参加者
第1回	令和7年9月29日~10月1日	1組1名
第2回	令和8年1月27日~2月6日	1組1名
第3回	令和8年2月12日~2月13日	1組4名
第4回	令和8年2月22日~2月23日	1組2名

- 募集期間: 令和7年8月18日(月)~令和8年3月4日(水)
- 申込方法: Web上でのエントリー
- 主な対象者:
 - 将来的な移住も視野に入れつつ、まずは島との繋がりを築きたい方
 - 二地域居住やワーケーションの候補地として、伊是名島を深く知りたい方
 - 沖縄の島に、都市部とは別の活動拠点や心のふるさとを持ちたい方
 - 自分のスキルや経験を活かして、島の地域づくりに関わってみたい方
- 申込: 8組
- 最終参加者数: 4組8名(うち1組1名は同じ参加者が2度訪問)
※キャンセル4組のうち、3組はツアーの日程調整等の事前準備まで行った段階でのキャンセルとなった

(2) 募集告知

- おきなわ島ぐらしを利用した告知
 - 告知期間: 令和7年8月18日(月)~令和8年3月4日(水)

The image displays two promotional materials for the 'オーダーメイド型 伊是名島ぐらし体験プログラム' (Order-Made Type Iseshima Island Living Experience Program). On the left is a social media post with a colorful header and text in Japanese. On the right is a screenshot of a website with a scenic background image of a coastline and detailed text in Japanese.

- 上記サイトを利用した Facebook、X(旧 Twitter)での告知



- おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook 上での広告
 - 島での田舎暮らしに興味がある層
 - ◇ 年齢：18～65+歳
 - ◇ 居住地：日本
 - ◇ 興味・関心：「島」かつ「地域社会の問題(法律・政府・公的機関)」または「田舎」、「業種:地域福祉・社会福祉」
 - ◇ 期間:令和7年10月30日(木)～令和7年12月19日(金)(50日間)
 - ◇ リーチ数: 90,264 クリック数: 2,720



(3) ツアー内容詳細

<第1回>

日程	令和7年9月29日(月)~10月1日(水)2泊3日
年齢・人数など	50代女性1名
居住地	愛知県
主なツアー内容 <1日目>	<ul style="list-style-type: none"> ○16:30 伊是名村到着 ○島巡り(チデン岳など) ○夕方に仲田区の豊年祭の練習を見学 ○ワーキングホリデーで使用した宿舎を見学(保育士のワーホリへの参加を希望されていたため(今年度実施なし)) ○宿泊先である宝の島にチェックイン ○麵龍にて夕食 ○宿泊先にて軽いゆんたく
<2日目>	<ul style="list-style-type: none"> ○高良屋にて朝食。お店のご夫婦とゆんたくして顔見知り ○10:00 保育所見学 ○チデン園^{※1} 訪問・園長との面談 ○民族資料館を訪問し、世界のウチナーンチュ3名と交流 ○伊是名ビーチハウス^{※2}にて宿泊者(修学旅行生3名)と一緒に昼食 ○宿で休憩 ○16:00 ビーチにてサトウキビジュース絞り体験 ○島のマルシェ主催者と交流 ○山登り ○カミヤマパンでゆんたく ○自由時間(サンセットなど見て過ごされる) ○19:00 修学旅行生と夕食 ○宿泊先で軽いゆんたく <p>※1 チデン園とは村内の特別養護老人ホームのこと ※2 伊是名ビーチハウスとは、いぜなゆんたく座が運営する体験・宿泊施設</p>
<3日目>	<ul style="list-style-type: none"> ○7:00 朝食 ○8:00 港に送迎。港で観光協会局長とゆんたく ○9:00 出港



初日島巡り



仲田の豊年祭練習見学



高良屋で朝食。オーナーとゆんたく

保育所見学

修学旅行生と資料館見学

修学旅行生と食事

<第2回※1回目と同じ参加者が2回目の訪問>

日程	令和8年1月27日(月)~2月6日(水)10泊11日
年齢・人数など	50代女性1名
居住地	愛知県
ツアー内容 <1日目> 1月27日	(飛行機の遅延により1日遅れて伊是名入り) ○地域コーディネーターは島を離れる用事があったため、運天港にてツアー参加者と待ち合わせ、参加者と同郷の先輩移住者を紹介
<2日目> 1月29日	○宿泊先の民泊民家にてヒアリング ○今後の滞在先候補の見学 ○自由時間(前回の宿泊先である宝の島訪問) ○伊是名ビーチハウス内の相談室、いぜなゆんたく座にて夕食を兼ね、ヒアリング
<3日目> 2月4日	○民族資料館、城山登山、伊是名集落の神あしやぎ、のろ殿内、銘苅家等を巡り、島の歴史、琉球の歴史、尚家の歴史などご案内 ○荷物集荷のサポート 郵便配送業者と荷物引き取り場所や時間を打ち合わせ ○前回お世話になったお菓子屋の神山訪問 ○内花の飲食店にて一緒に夕食 民泊近隣の住民を多くご紹介した
<4日目> 2月5日	○午前中、保育所の「じゃがいもカレーづくり体験」に参加(コーディネーター同席せず)自然な職場雰囲気を体験し、次回滞在時の協力の声掛けあり ○レンタサイクル返却、宿泊先まで送迎 ○午後から夜まで高良屋にて仕事
<5日目> 2月6日	○民泊民家(内花区長宅)にて区長K氏に挨拶 ○伊是名ビーチハウスにて昼食兼振り返り



運天港にて伊是名愛の強いリピーターさんグループをご紹介します



高良屋の仕事



宿舎のN区長民泊



二拠点移住後の住まい探しで空き家見学



住まい探し、候補のきくや



城山登山

<第3回>

日程	令和8年2月11日(水)~2月12日(木)
年齢・人数など	50代女性4名
居住地	沖縄県那覇市
ツアー内容 <1日目> 2月11日	<ul style="list-style-type: none"> ○11:30 到着後、島ぞら市参加 イベント終了の 15:30 まで、参加者と仲間の施術者3名で琉球リフレのおためし体験会を開催 ○16:30 絶景スポットのチデン岳をご案内 ○伊是名公民館へ案内し区長のIさんをご紹介 ○チェックイン後フリータイム。ビーチや集落などスポットをご紹介し、自由に散策 ○夜、いぜんゆんたく座にてで夕食を兼ねたヒアリング
<2日目> 2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○9:00 公民館お迎え ○区内の史跡名勝や歴史ポット案内(神あさぎ、のろ殿内、銘苅家) ○琉球りふれイベント会場候補として体験交流館を外から見学(祝日により施設) ○絶景のギターラの浜を軽くビーチクリーン ○ギターラ展望台 慰霊塔 シラサギ展望台 玉御殿などを訪問 ○中川館(宿)にて女将さんとゆんたく ○レストハウス神山にて昼食 ○菓子の島かみやま訪問 ○みほそ所見学後、港にお送り



施術の様子



伊是名公民館



絶景等島内スポット



ゆんたく座で夕食兼ねてヒアリング等



<第4回>

日程	令和8年2月22日(日)~2月23日(月祝)
年齢・人数など	40代女性1名、10代男性1名
居住地	沖縄県うるま市
主なツアー内容 <1日目> 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○仲田売店を訪問 ○玉御殿見学 ○伊是名ビーチハウスで簡単な昼食 ○宿泊先の公民館チェックイン ○チヂン山ハイキング ○族資料館で島の概要と歴史をご案内 ○伊是名区の井戸をご案内 ○16:00 タマヅメで釣り体験 ○伊是名ビーチハウスにて釣果をさばき調理して夕ご飯
<2日目> 2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ○9:00 公民館お迎え ○伊是名ビーチハウスにて残りの釣果で朝ご飯 ○レンタサイクルを借りてサイクリング 仲田集落せいろくまい→仲田の神あさぎ→仲田の井戸→仲田の墓地団地→仲田集落からターシの浜→城山入り口→玉御殿→シラサギ展望台→ギター展望台・慰霊塔→ギターの浜→漁協直売所→伊是名集落→銘苺家→102歳のFさん ○伊是名ビーチハウスでまだ食べてなかった魚種の素揚げを昼食代わりに ○区長さんのご自宅を訪問し奥さんとゆんたく ○伊是名区から仲田区までサイクリング ○かみやまのヤギ小屋でヤギとしばし遊ぶ ○サトウキビ畑を下って港へ。レンタサイクル返却 ○ターミナルでお土産購入し、乗船



釣り ワーホリの方と



釣果



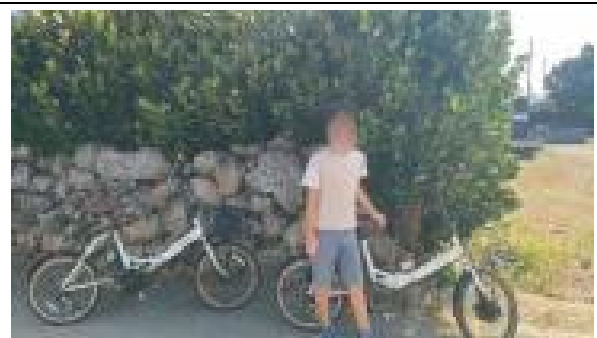
釣果料理作り



サイクリング 102歳Fさんと握手



サイクリング

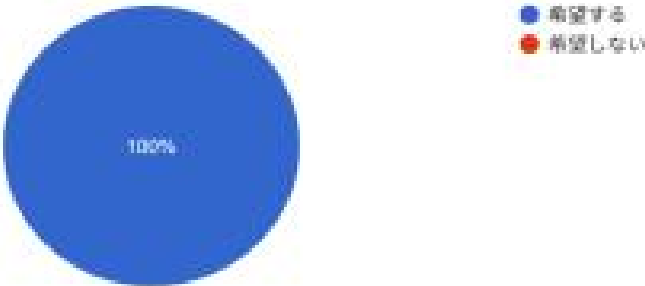


アシストサイクル

(4) 事後アンケート集計

4 組中 4 組(8 名)回答 (うち1組1名は同じ参加者が2度訪問)

<p>今回のツアーの満足度はいかがでしたか？ 0 (大変不満足)～10(大変満足)の段階で表してください</p>	<table border="1"> <caption>満足度アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度 (0-10)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0%</td></tr> <tr><td>2</td><td>0%</td></tr> <tr><td>3</td><td>0%</td></tr> <tr><td>4</td><td>0%</td></tr> <tr><td>5</td><td>0%</td></tr> <tr><td>6</td><td>0%</td></tr> <tr><td>7</td><td>0%</td></tr> <tr><td>8</td><td>0%</td></tr> <tr><td>9</td><td>0%</td></tr> <tr><td>10</td><td>100%</td></tr> </tbody> </table>	満足度 (0-10)	割合 (%)	0	0%	1	0%	2	0%	3	0%	4	0%	5	0%	6	0%	7	0%	8	0%	9	0%	10	100%
満足度 (0-10)	割合 (%)																								
0	0%																								
1	0%																								
2	0%																								
3	0%																								
4	0%																								
5	0%																								
6	0%																								
7	0%																								
8	0%																								
9	0%																								
10	100%																								
<p>上記の評価の理由をご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料館見てグスクに登り、歴史の事も触れる事ができ、より島を知る事ができました。やってみたかった働きながら島で暮らす…という事も体験できて、島の方とも、さらに交流できて、とても満足しました ● 私の希望に基づいて、色々な方に合わせていただき、ご縁を繋げていただきました。全力で望んでいただき、大変充実した時間でした ● 長男との初めての二人旅でしたが、ガイドさんが本当に素晴らしく、不慣れな私たちに終始寄り添いながら丁寧にサポートしてくださいました。そのおかげで、長男が島でやりたかったことをすべて実現することができました。地元の方々とのあたたかな触れ合いもあり、特に心に残っているのは、102歳の方の力強い命に触れられたことです。握手をしていただいた手の大きさと温もりが、島の懐の深さと重なり、胸がいっぱいになりました。島のあたたかさ、人のあたたかさにも触れ、また定期的に訪れたいと心から思っています。私たちにとって、この島は第二の故郷のような、大切な思い出が宿る場所になりました。 ● 何度か訪れていた伊是名島でしたが ガイドをしていただき、これまでに 行ったことのない場所、歴史も詳しく 学ぶ事ができました 現地の方との繋がりもでき、充実した滞在時間を過ごせました 																								
<p>今回のツアーで、移住もしくは2地域居住したいという気持ちになりましたか？</p>	<table border="1"> <caption>移住希望アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>移住したいと思うようになった</td><td>0%</td></tr> <tr><td>2地域居住したいと思うようになった</td><td>75%</td></tr> <tr><td>定期的に訪問したいと思うようになった</td><td>25%</td></tr> <tr><td>今後再訪しようと思うようになった</td><td>0%</td></tr> <tr><td>上記いずれの気持ちもなかった</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	回答内容	割合 (%)	移住したいと思うようになった	0%	2地域居住したいと思うようになった	75%	定期的に訪問したいと思うようになった	25%	今後再訪しようと思うようになった	0%	上記いずれの気持ちもなかった	0%												
回答内容	割合 (%)																								
移住したいと思うようになった	0%																								
2地域居住したいと思うようになった	75%																								
定期的に訪問したいと思うようになった	25%																								
今後再訪しようと思うようになった	0%																								
上記いずれの気持ちもなかった	0%																								
<p>上記の理由をご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 島の方々とお知り合いになってきたので。それから、海があるので。 ● 島全体がファミリー感に溢れていて、私もその中に良いバランスを保って仲間入りしてみたいと思いました。あと人手不足のお手伝い如果能たら、と思ったので ● 長男は 3 歳の時に島に始めてきました。7 歳の節目でも自分で山に登りたいと心の成長と共に訪れた体験がありました。これまでの私たちにとって島は、「誰かに導いてもらわないと辿り着けない場所」でした。けれど今回の体験を通して、自分たちの足で訪れても十分に楽しめる、身近であたたかい場所へと変わりました。また、私の母も島の話をするたびに強く反応しており、ご縁のようなものを感じています。次は大切な家族や身近な人たちを連れて、あの時間と 																								

	<p>空気を共有したいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少しずつ通い、島を知りたい
<p>今回のツアーについて、ご感想や特に良かった点、気になった点などありましたら、ご自由にご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車での移動に困ったときに、ガイドさんが助けて下さいました。とても助かりました。 ● ガイドさんの人脈と自然いっぱいの島に感動しました。修学旅行生を島全体で受け入れている事を肌で感じました ● 今回、安心安全の中、釣りやサイクリングといったアクティブな体験を長男と一緒にできたことは、本当に嬉しかったです。2月22日の釣りでは、なんと22匹の釣果。さばき方まで教えていただき、その日のうちに新鮮な魚をいただくことができました。命の恵みを味わい、島のエネルギーを体に取り込むような、かけがえのない体験でした。また、自転車については当初少し不安や否定的な気持ちもありましたが、ガイドさんが「やってみてもいいのでは？」と柔らかく背中を押してくださり、挑戦してみると想像以上に楽しかったです。風や空気を肌で感じながら走ることで、景色を見るだけではなく、身体感覚として“島を覚えていく”ような体験につながりました。 ● 細かい配慮やタイムスケジュールもこちらの都合に合わせていただいたり、急なリクエストにも答えていただき感謝いたします。1箇所か滞在時間も長めになってしまいご迷惑をおかけしてしまいましたが、時間配分をして下さり、有意義な時間を過ごせました
<p>事務局や沖縄県への要望等がありましたらご記入ください(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一回の来島に数日間泊まりたいのですが、宿泊先が高額になる為、数日間の滞在が予算的に難しい為、宿泊費の補助などがあれば、もっと島へ行く時間が増えるので、ご検討をお願いします
<p>今後、移住に関する情報について、沖縄県や大宜味村等、運営側からの情報提供を希望されますか？</p>	

(5) 総括

- ツアー参加者への事後アンケートの結果、全員がツアー満足度について最高評価を付けた。これは、地域コーディネーターの人脈の広さや、臨機応変できめ細やかな対応、参加者のニーズをくみ取り観光ツアーでは体験できない島の日常に触れる機会を提供できたことが評価されたものと考えられる。今回の参加者の中には、具体的に二地域居住の検討を進めている方もおり、その後押しとなる取組として意義のあるものであった。
- ツアー終了後、地域コーディネーターより、業務範囲を超える対応が求められるケースがあったとの報告があった。今後は、コーディネーターに過度な負担が生じないように、役割や対応範囲について募集案内時により丁寧に明示する必要がある。

2-1-3. ⑤ モニターツアー(オーダーメイド型)_大宜味村

(1) 実施概要

- ツアータイトル: 世界自然遺産”やんばるの自然と文化に触れる一日。長寿の里の暮らしを覗く、オーダーメイド型大宜味村「暮らし体験」日帰りプログラム
- 地域コーディネーター: 1名
- 日時: 令和7年10月28日～令和8年1月23日 計7回実施

	日程	参加者
第1回	令和7年10月28日	1組2名
第2回	令和7年11月17日	1組1名
第3回	令和7年12月10日	1組1名
第4回	令和8年1月16日	1組2名
第5回	令和8年1月17日	1組3名
第6回	令和8年1月18日	1組2名
第7回	令和8年1月23日	1組2名

- 募集期間: 令和7年10月7日(火)～令和8年3月4日(水)
- 申込方法: Web上でのエントリー
- 主な対象者: 以下のうち3つ以上当てはまる方。
 - 将来的な移住も視野に入れつつ、まずは地域との繋がりを築きたい方
 - 沖縄での就農(特にシークワサー等)に関心がある方
 - 芭蕉布や陶芸など、沖縄の手仕事や文化に興味がある方
 - 自分のスキルや経験を活かして、地域の活性化に関わってみたい方
- 申込: 8組
- 最終参加者数: 7組13名

(2) 募集告知

- おきなわ島ぐらしを利用した、HP および Facebook 上での告知
 - 告知期間: 令和7年10月7日(火)～令和8年3月4日(水)



- 上記サイトを利用した Facebook、X(旧 Twitter)での告知



- おきなわ島ぐらしを利用した、Facebook 上での広告

➢ 島での田舎暮らしに興味がある層

- ◇ 年齢：18～65+歳
- ◇ 居住地：日本
- ◇ 興味・関心：「田舎」&「島」
- ◇ 期間：令和7年10月7日(火)～令和7年11月26日(水)(50日間)
- ◇ リーチ数：53,600 クリック数：2,336

<Facebook での広告>



(3) 実施内容詳細

<第1回>

日程	令和7年10月28日(火)
年齢・人数など	50代男性1名、50代女性1名
居住地	滋賀県
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明 ・フードリボンの工場について(貸作業場がある旨をお伝えした) ●周辺状況の見学1(商店や病院など)
10:20	<ul style="list-style-type: none"> ●喜如嘉集落(モノづくりをしている方が多いエリアのご案内) ・芭蕉布会館 ・喜如嘉翔学校
11:30	●田嘉里集落(移住者が多いエリアのご案内)
12:05	●シークワサーパーク 施設見学 兼 昼食
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ●MOA 大宜味農場 →ご主人が家庭菜園もしているの、MOAの自然農法にすごく興味を持ち、たくさん質問したり、取組について熱心に聞いていた。 ●大宜味村農村漁村活性化センター →大宜味村の農産物の見学と購入
16:00	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場



芭蕉布会館



喜如嘉翔学校



田嘉里やんばる酒造



MOA 畑見学

<第2回>

日程	令和7年11月17日(月)
年齢・人数など	60代男性1名
居住地	東京都
9:30	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
10:00	●田嘉里集落(移住者が多いエリアのご案内) →やんばる酒造、オキナワカカオを訪問。集落在住の石井の知人にも会い、集落内の空き家情報なども伺う
11:10	●喜如嘉集落(モノづくりをしている方が多いエリアのご案内) →喜如嘉翔学校を訪問し、移住し空き教室でモノづくりなどをされている方などを紹介
12:00	●昼食(おおぎみ食堂)
13:00	●生活必需箇所の見学 →診療所やコンビニなどを案内
	●大宜味漁港 見学 →船舶免許を持っているとのことで、興味深くみて下さった。
	●シークワサーパークの見学 →シークワサーの成分を使った化粧品もあり興味深く見学されていた。
14:30	●宿やんばるの森とその周辺の案内 →大宜味村内にある「やんばるの森」という宿に宿泊予定とのことで、場所が分かりづらい為、宿や周辺をご案内した。
15:30	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場



やんばる酒造



オキナワカカオ



山原工藝店@喜如嘉翔学校



シークワサーパーク見学

<第3回>

日程	令和7年12月10日(水)
年齢・人数など	50代女性1名
居住地	奈良県
10:00	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
10:20	●シークワサーパーク 施設見学 →大宜味村の特産シークワサーを加工・販売している施設 ●江洲:大宜味村の和蕎麦の取組について説明 ●大宜味村内の生活必須施設(病院や商店など)の現地見学
11:10	●大宜味村農村漁村活性化センター見学 →大宜味村の農産物見学
11:30	昼食:おおぎみ食堂
12:30	●予定より時間が余ったので、大宜味村の観光スポット(六田原展望台、イギミハキンゾー展望台、石山展望台)を案内
13:30	●田嘉里集落(大宜味村内で移住者が多く住むエリアのご案内)
14:00	●喜如嘉集落(移住者で働いている方が多いエリアのご案内)
15:00	●ノイベナ農園 見学 →喜如嘉集落内でサトウキビ作りと黒糖づくりをしているので、サトウキビのことや農業関係の情報交換
15:45	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場



シークワサーパーク



大宜味村農村漁村活性化センター



やんばる酒造(田嘉里集落案内)



ノイベナ農園 工房見学

<第4回>

日程	令和8年1月16日(金)
年齢・人数など	20代女性1名、同行者1名
居住地	神奈川県
9:20	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
10:00	●芭蕉布の苧績み体験2H(※有料)@喜如嘉翔学校 ~12時まで
12:45	●昼食 ※長寿食で有名な笑味の店でランチ →店主のEさんとも少し話をさせていただいた後、笑味の店の畑見学
13:45	●田嘉里集落(移住者が多いエリアのご案内) →やんばる酒造見学
14:20	●山原工藝店・喜如嘉翔学校見学
15:00	●芭蕉布会館※当初予定には入れて無かったがお二人がすごく興味あり立ち寄った。
15:40	●めのられすとらん:金~日しかやっていないパン屋さんへ案内
16:00	●シークワサーパーク 施設見学
16:30	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場



芭蕉布の芋績み体験



笑味の店



芭蕉布会館



シークワサーパーク

<第5回>

日程	令和8年1月17日(土)
年齢・人数など	60代男性1名、50代女性1名、60代女性1名代女性
居住地	沖縄県那覇市
9:30	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
10:00	●シークワサーパーク:ご存じなかったので訪問した。
10:45	●大宜味村産業まつり 見学 ⇒知り合いのノイベナ農園さんや催し物を楽しんだ。
12:30	●めのられすとらん:パンも好きとのことで、金・土・日しか開いてないパン屋さんへお連れした。店主の方とも農作物関連を中心に話が盛り上がった。
13:30	●喜如嘉翔学校:移住者が多く、モノづくりをしている方が多い。
14:15	●田嘉里集落案内:産業まつりの関係でやんばる酒造等は臨時休業だったため、
15:00	カカオの畑を案内した。 ●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 ※祭りでお昼時間をあまりちゃんと確保できなかったのも、参加者同意のもと、少し早めに切り上げた。



シークワサーパーク



大宜味村産業まつり



めのられすとらん



喜如嘉翔学校

<第6回>

日程	令和8年1月18日(日)
年齢・人数など	60代女性1名、男性1名
居住地	千葉県
9:15	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
9:50	●みちくさ牧場:放課後等デイサービス・児童発達支援を行っている場所の見学
10:20	●周辺状況の見学(商店や病院など)
10:45	●大宜味村産業まつり 見学
12:00	●めのられすとらん 昼食
12:50	●喜如嘉翔学校 見学
13:45	●田嘉里集落の案内
14:30	●大宜味村農村漁村活性化センター:島バナナが好きとのことで立ち寄った。
15:00	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →スタートが少し早かったのと、昼休憩もあまりなかったので、参加者と相談の上、少し早めに切り上げた。



みちくさ牧場



大宜味村産業まつり



めのられすとらん



喜如嘉翔学校

<第7回>

日程	令和8年1月23日(金)
年齢・人数など	20代男性、50代女性
居住地	沖縄県読谷村
9:30	●集合・待ち合わせ:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場 →大宜味村について概要説明
10:00	●おおぎみまるごとツーリズム協会 →民泊受入れについてお話を伺った
11:10	●大宜味村の牡蠣養殖とMさんの紹介
11:30	●大宜味村の特産物 和蕎麦の紹介
11:45	●昼食(江洲の花) →大宜味村の和蕎麦や農作物の天がらが頂けるお店
12:45	●大宜味村内の病院や買い物スポットと大宜味農村漁村活性化センターの案内
13:15	●喜如嘉翔学校の案内
14:00	●カラキ茶の生産者訪問 14-15時
15:15	●昔、大宜味村で豆腐を作っていた場所へ案内
15:45	●解散:道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター 駐車場



おおぎみまると観光協会



大宜味村の牡蠣養殖の歴史について



喜如嘉翔学校(山原工芸店)

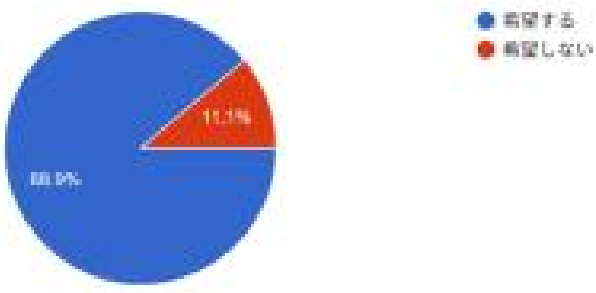


カラキ茶生産者訪問

(4) 事後アンケート集計 7組中7組(9名)回答

<p>今回のツアーの満足度はいかがでしたか？ 0(大変不満足)～10(大変満足)の段階で表してください</p>	<table border="1"> <caption>満足度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>2</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>3</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>4</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>6</td><td>0</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>8</td><td>2</td><td>22.2%</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>10</td><td>5</td><td>55.6%</td></tr> </tbody> </table>	満足度	人数	割合	0	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%	3	0	0.0%	4	0	0.0%	5	0	0.0%	6	0	0.0%	7	1	11.1%	8	2	22.2%	9	1	11.1%	10	5	55.6%
満足度	人数	割合																																			
0	0	0.0%																																			
1	0	0.0%																																			
2	0	0.0%																																			
3	0	0.0%																																			
4	0	0.0%																																			
5	0	0.0%																																			
6	0	0.0%																																			
7	1	11.1%																																			
8	2	22.2%																																			
9	1	11.1%																																			
10	5	55.6%																																			
<p>上記の評価の理由をご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ツアーガイドさんが、大宜味の自然、地域の特徴、歴史、又地元の方達とコミュニケーションを取れるようにセッティングもしてくれて予想以上に濃い内容で大変感謝しております。お話しも上手でわかりやすく、そして、楽しい時間をすごせました。 ● 大宜味村のことをたくさん知れたから ● 今回のツアーは大変有意義で充実した内容を体験させていただきありがとうございます。あいにくの雨でしたが、しっとりとした感じもとても良かったです。火曜日ということでお休みされていてお会いできなかった方々がおられたのが残念でした ● 移住者の方の話も聞きたかった ● 地域の特徴を満載に楽しめましたので ● 事前にお伝えしていた少ない身上の情報でしたが、それらに従ったプログラムで丁寧に案内して頂きました。村内の知りたいリソースを回って頂いたことに満足しました。また、車内での会話も充実していて、移住された方の話しなども参考になりました。 ● コーディネーターさまに、丁寧かつありのままの大宜味の姿をご案内いただきました。行政と民間の関わり、具体的な17の行政区と移住者に対する思い、実際生活に必要な住環境や就業環境、生活インフラなどよく理解できました。 ● 村の自然、ご縁を楽しむことができました。 ● 私達の関心に沿った場所を一日で7ヶ所も巡らせていただいたため。また、各箇所や車内にて、大宜味村の文化や生活、移住についての詳しいお話をガイドさんがしてくれたことも大きかったです。 																																				
<p>今回のツアーで、移住もしくは2地域居住したいという気持ちになりましたか？</p>	<table border="1"> <caption>移住意向調査結果</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>移住したいと思うようになった</td><td>3</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>2地域居住したいと思うようになった</td><td>2</td><td>22.2%</td></tr> <tr><td>定期的に訪問したいと思うようになった</td><td>4</td><td>44.4%</td></tr> <tr><td>今後再訪しようと思うようになった</td><td>3</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>上記いずれの気持ちにもななかった</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	意向	人数	割合	移住したいと思うようになった	3	33.3%	2地域居住したいと思うようになった	2	22.2%	定期的に訪問したいと思うようになった	4	44.4%	今後再訪しようと思うようになった	3	33.3%	上記いずれの気持ちにもななかった	0	0%																		
意向	人数	割合																																			
移住したいと思うようになった	3	33.3%																																			
2地域居住したいと思うようになった	2	22.2%																																			
定期的に訪問したいと思うようになった	4	44.4%																																			
今後再訪しようと思うようになった	3	33.3%																																			
上記いずれの気持ちにもななかった	0	0%																																			
<p>上記の理由をご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 民泊と農業をするためには、一軒家が必要で今すぐには移住は難しく、とりあえず大宜味に定期的に訪問しながら、住む場所のリサーチや地元の方達と関わっていくのがよいかと思いました。 ● 大宜味村が意外と広く、今日だけじゃわからなかったもので、定期的に訪れても 																																				

	<p>っと知ろうと思った</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大宜味村のことをもっと知りたいし ご活躍の皆さまとの親交を深めたく 思いました ● 雰囲気の良い感じの街な感じ ● 人間としての豊かさと技術力を融合させたいから ● 移住を前提にしながら、更なる情報収集や関係社とのコミュニケーションを構築していければと思いました。 ● これまでの私自身のキャリアを活かすことは難しく、また受け入れていただく大宜味村側も戸惑いが生じると思われそうですので、何が出来るかを熟考し、この地域のお役に立てることは何かを考えたいと思います。 ● ご縁あった方々と今後も交流します。 ● この地域の風景や文化、自然の豊かさ、料理の美味しさなどに魅力を感じたため。しかし具体的な移住の方法が分かりづらく難易度が高くも感じたので 2 つ 選択しました。
<p>今回のツアーについて、ご感想や特に良かった点、気になった点などありましたら、ご自由にご記入ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● やはり地元の方達との触れ合いが良かったです。感謝しております。 ● 大宜味村が抱えている問題、地域の悪循環を、民間で解決していこうという取り組みがとても好印象でした。 ● 大宜味村という地域のポテンシャルの高さや奥ゆかしさを感じることができました 居住ということに関して街の受け入れ状況の詳細が分からず気になりました ● 結局の所どこも同じで住むところが無いよねって言うところに落ち着きますね ● ガイドさんを通して、地域の一人一人の想いに触れられることに魅力を感じました ● 天候にも恵まれて、産業祭りへの訪問をはじめに充実したツアーだったと思います。 ● 上述の通り、実際移住されてこられ生活されているコーディネーターの方の生の声は、大変興味深く拝聴させていただくことができました。また、地元の方々も含め、ネットワークも有しており、大変参考になりました。ありがとうございました。 ● 天気も恵まれ、祭りが大盛況だった。 ● ツアーというとバスを使用し、団体で決まった場所をまわることが一般的だと思いますが、今回のツアーでは、自動車で個別の需要に合わせて柔軟に動くことができたのが特に良かったです。
<p>事務局や沖縄県への要望等がありましたらご記入ください(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家がたくさん有るのか？と思って参加しましたが、全く無いように地元の方もおっしゃっていて、住む場所の確保からお願いしたいです。 ● 家が借りれない問題が一番ダメなのにそれを問題解決しないのはどうかと思います。 ● 今回の事業の趣旨や方向性、実績などの詳細説明が欲しいです。また移住希望者に何を望まれているのか、マッチングの在るべきか姿が明確にされていると、なお良いと思います ● 特にはありませんが、根底の問題としての居住が可能になる施策が必要だと思いました。 ● 移住者の不安は、住居と仕事であり、県が主体となり、公営住宅や空き家の幹

	<p>旋などによる住居の確保、移住者にとって利用しやすいハローワークの体制強化を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有難うございます。 				
<p>今後、移住に関する情報について、沖縄県や大宜味村等、運営側からの情報提供を希望されますか？</p>	 <table border="1"> <caption>今後、移住に関する情報について、沖縄県や大宜味村等、運営側からの情報提供を希望されますか？</caption> <thead> <tr> <th>希望する</th> <th>希望しない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.9%</td> <td>11.1%</td> </tr> </tbody> </table>	希望する	希望しない	80.9%	11.1%
希望する	希望しない				
80.9%	11.1%				

(5) 総括

- ツアー参加者へのアンケート結果から、ツアー内容および大宜味村での暮らしに対する評価は概ね良好であった。これは、地域コーディネーターによる事前の綿密なヒアリングおよび調整により、参加者の属性やニーズに応じた質の高い案内が実現され、高い満足度につながったものと考えられる。
- 大宜味村では少子高齢化に伴う産業の担い手不足が深刻化している。今回のツアーでは、地域産業への関心が高い参加者も見受けられたが、参加者アンケートのコメントからもわかるように、受け入れの鍵となる「住居の確保」が喫緊の課題として改めて浮き彫りになった。今後は、これまでも実施してきた大宜味村の移住・定住促進施策との連携を踏まえ、さらなる連携強化を図りつつ、県事業としての支援のあり方について検討していく必要がある。

2-2.先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築

本施策は、デジタル技術(LINE 公式アカウント)を活用し、離島・過疎地域への移住検討者に対して、地域住民や先輩移住者が「島ぐらしナビゲーター」としてリアルな情報提供や初期相談を行うプラットフォームを構築するものである。

(1) 背景と目的

- ・ 離島・過疎地域への移住を検討する際、公的な窓口では得られにくい「地域のリアルな暮らし」や「人間関係」といった情報の不足が課題であった。
- ・ 地理的な制約を解消するデジタルツールを活用し、移住希望者が日常的に使い慣れた LINE 等で気軽に相談できる環境を整備。不安を解消するとともに、移住初期の定住フォローアップを行う受入体制の強化を目的とする

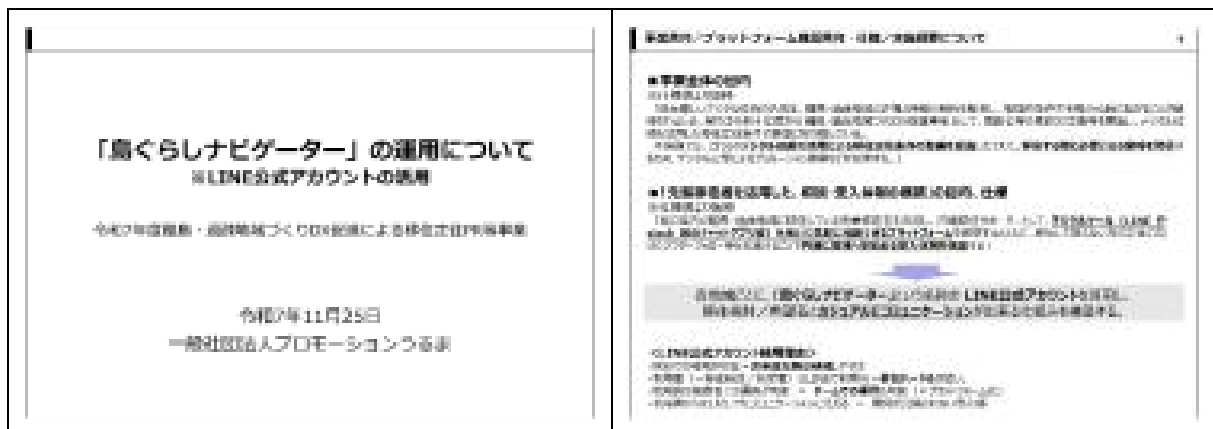
(2) プラットフォームの仕様と運用ルール:


- ・ 採用ツール: 地域ごとに LINE 公式アカウントを開設。
- ・ 運用体制: 自治体が認定した中間支援組織、または市町村の推薦を受け、事務局(プロモーションうま)によるレクチャーを受けた民間事業者が「島ぐらしナビゲーター」を担う。
- ・ 対応フロー: 移住検討者からのチャット相談に対し、原則 3 営業日以内に返答。対応時間は平日 10:00-17:00 を基本とし、地域ごとの状況に応じて柔軟に設定する。
- ・ コンテンツ発信: 定期的なプッシュ配信(住宅、仕事、人付き合い等)により、検討者の関心を維持。キーワード応答機能等を用いた自動応答メニューも構築

(3) 育成・支援:

- ・ 「島ぐらしナビゲーター」育成プログラムとして、地域ごとに移住相談の基礎知識や LINE 操作に関するオンライン研修を実施。

<研修内容資料抜粋>



<p>I. 移住とは、移住促進とは何か</p>	<p>本事業（トライアル）で期待したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の暮らしの、生の声をお伝えすること ✓ 移住希望者が抱いているであろう「想像」が、現実と違 い場合には少し軌道修正してあげる ✓ 移住希望者が正しい情報にリーチできるための道筋を 教えてあげること（＝答えの提示） 												
<p>II. 移住相談における注意点</p>	<p>対応時に注意いただきたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分では分からないこと／正確な数字や情報について <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 自分もご案内しましょう、あくまでご自身に関わるご回答をお願いします（ご自身で理解・把握されている場合はOKです） ✓ 個人的な感想の一般化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ あくまで個人的な感想／事例であること（＝公的な情報ではないこと）が相手に伝わるようお願いします ✓ 地域／行政のネガティブな話 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 気づかないように言ってしまうケースもあります！ ✓ 誘導することや価値判断を極力避けること <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 地域で暮らすための必要な価値観の提供はOKですが、「ここは来るべき場所だから」という思いはあきらめましょう 												
<p>III. LINE公式アカウントへの参加（運用例）</p>	<p>LINE公式アカウント</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 個人ではなく、企業や店舗が運用するアカウント ✓ 1つの公式アカウントから、個人アカウントに対して直接のコミュニケーションが可能 ✓ 個人アカウントとはあくまでも「対話」の場であり「発信」はしない <table border="1"> <thead> <tr> <th>グループメッサー</th> <th>オープンチャット</th> <th>公式アカウント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数人を同時に招待可能 ・ 1対1のDMと同様にメッセージを送ることも可能 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 </td> <td>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 </td> <td>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 </td> </tr> </tbody> </table>	グループメッサー	オープンチャット	公式アカウント	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数人を同時に招待可能 ・ 1対1のDMと同様にメッセージを送ることも可能 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 						
グループメッサー	オープンチャット	公式アカウント											
 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数人を同時に招待可能 ・ 1対1のDMと同様にメッセージを送ることも可能 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合はグループメッサーが推奨 	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 ・ 参加人数が100人以上の場合に推奨 											
<p>LINEで必要なアカウントが2つあり、「LINEアカウント」は99%の人が持っている</p> 	<p>4 登録について</p> <p>Example 2のアカウント、100%はFacebookを利用します。</p> <p>FacebookのExampleを利用していただく場合は、LINEの登録に必要となるアカウントは、LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アカウント</th> <th>利用状況</th> <th>登録方法</th> <th>登録場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Example</td> <td>100%</td> <td>Facebook</td> <td>LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ</td> </tr> <tr> <td>LINE</td> <td>100%</td> <td>LINE</td> <td>LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ご登録の際は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録するアカウントがExampleアカウント（Facebook）の場合は、Exampleアカウントを登録可能な状態にしてください。 ・ 登録するアカウントがExampleアカウント（Facebook）の場合は、Exampleアカウントを登録可能な状態にしてください。 	アカウント	利用状況	登録方法	登録場所	Example	100%	Facebook	LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ	LINE	100%	LINE	LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ
アカウント	利用状況	登録方法	登録場所										
Example	100%	Facebook	LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ										
LINE	100%	LINE	LINEのアカウントとExampleのアカウントの2つ										

2-2-1.大宜味村での展開

大宜味村では、村役場の担当者と相談の上、地域密着型のナビゲーター2名を推薦いただいた。

(1) 研修

- ・ 実施日:令和7年11月25日(火) 14:00~15:30
- ・ 参加者:ナビゲーター2名、大宜味村役場 K氏
- ・ 実施内容:移住相談の基礎知識、LINE 公式アカウントの運用方法について

(2) プラットフォーム運営

- ・ 運営開始日:令和7年12月19日(金)
- ・ 告知メディア:おきなわ島ぐらし
- ・ SNS 広告
期間:令和7年12月23日~令和8年2月14日
リーチ:97,113 ページビュー:2,074

<告知>

 <p>【大宜味村】移住の「リアル」をLINEで気軽に相談！「鳥ぐらしナビゲーター」がスタートします</p> <p>「鳥ぐらしナビゲーター」は、移住相談の専門家として、移住希望者から相談を受け、移住のサポートを行います。</p> <p>「鳥ぐらしナビゲーター」は、移住相談の専門家として、移住希望者から相談を受け、移住のサポートを行います。</p> <p>「鳥ぐらしナビゲーター」は、移住相談の専門家として、移住希望者から相談を受け、移住のサポートを行います。</p> <p>【大宜味村】「鳥ぐらしナビゲーター」の役割</p> <p>1. 移住相談の専門家として、移住希望者から相談を受け、移住のサポートを行います。</p>	<p>たとえば、こんな相談をお受けできます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住の「リアル」を気軽に相談できる（LINEで気軽に相談） ・ 移住の「リアル」を気軽に相談できる（LINEで気軽に相談） ・ 移住の「リアル」を気軽に相談できる（LINEで気軽に相談） ・ 移住の「リアル」を気軽に相談できる（LINEで気軽に相談） <p>ご利用の流れ</p> <p>ステップ1: 連絡を頂く</p> <p>ステップ2: 相談内容の確認</p> <p>ステップ3: 「お話しして移住のリアル」をサポート</p> <p>ステップ4: 情報をお伝え</p> <p>ご利用にあたっての注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談料: 無料（相談料はかかりません。ただし、LINEの通信料がかかります） ・ 相談時間: 平日 10時～18時（土・日・祭日は休みです） ・ 相談内容: 移住の「リアル」に関する相談（移住のメリット・デメリット、移住の準備、移住後の生活など） ・ 相談の目的: 移住の「リアル」を知りたい、移住の準備をしたい、移住後の生活を知りたいなど
--	---

<SNS 広告>

The image displays two versions of an advertisement for 'oshikawa-ura' (おきなわ烏ぐらし). The left side shows a Facebook post interface. The post header includes the profile name 'おきなわ烏ぐらし' and a close button. The main text of the post reads: '沖縄県大宜味村（おおぎみそん）への移住を検討されている皆様へ、新しい相談窓口のご案内です。' (For those considering moving to Okinawa Prefecture, Oshikawa Village (Oogimison), we have a new consultation window for you.) Below the text is a promotional image for the '鳥ぐらしナビゲーター' (Bird Living Navigator) app. The app image features a hand holding a smartphone with the LINE logo, and text that says '移住の「リアル」をLINEで気軽に相談!' (Consult about the 'real' of moving easily on LINE!) and '鳥ぐらしナビゲーター おきなわ烏ぐらし' (Bird Living Navigator Oshikawa-ura). Below the app image, the Facebook post text says 'oshikawa-ura.jp 大宜味村への移住、LINEで相談してみま...' (Moving to Oshikawa Village, consult via LINE...) and includes a button '詳しくはこちら' (More details here). The post also shows engagement metrics: 'コメント2件 シェア2件' (2 comments, 2 shares) and interaction icons for 'いいね!' (Like!), 'コメントする' (Comment), and 'シェアする' (Share).

The right side of the image is a vertical mobile app advertisement. It features a dark blue background with a hand holding a smartphone displaying the LINE logo. The text at the top reads 'おきなわ烏ぐらし'. Below the phone, it says '移住の「リアル」をLINEで気軽に相談!' (Consult about the 'real' of moving easily on LINE!). The main title is '鳥ぐらしナビゲーター' (Bird Living Navigator) with 'おきなわ烏ぐらし' (Oshikawa-ura) and 'oshikawa-ura.jp' below it. A prominent white button with a blue icon says '詳しくはこちら' (More details here). Below the button, it says '移住を検討されている皆様へ... more' (For those considering moving... more). The bottom left corner of the ad has the text '広告' (Advertisement).

(3) プッシュ通知(メッセージ)

質問を誘導するために、2回実施

<メッセージ>



(4) 相談内容まとめ

実績:6名 相談件数計:延べ8件

質問日	対応日	初回/追加	相談内容概要 (相談者からの質問)	回答概要 (島ぐらしナビゲーターからの回答)
1/13	1/13	初回	生活費について	<ul style="list-style-type: none"> ●家賃:1LDKのアパートで家賃4~5万円前後、それ以上だと+1~3万くらい →村営住宅(※空きがある場合)は、入居条件はありますが2~3万円くらい ●光熱水費 ※生活人数にもよる ●水道代:2000円~、ガス代:数千円~、電気代:数千円~ →夏場はクーラーが必要ですが、冬場は簡易なヒーターでも過ごせます。 ●食費 食品の値段は本土とあまり変わらない ●交通費・ガソリン¥139円/※2026年1月現在 →大宜味村はバスの本数も少なく、近くに大きなスーパーが無い為、車が無いと不便 ●その他 ・配送料は“沖縄送料”がかかることがあります。 大宜味村は少子高齢化で生産人口が減っているため、職種を選ばなければなりません。
1/16	1/17	追加	大宜味村の求人について	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉関係:大宜味村は長寿の村ということもあり、福祉に力を入れています。慢性的に人手不足なので、福祉関係の仕事は確実にあると思います。 ②農業関係:大宜味村は一次産業の割合が多く、農作業も慢性的に人手不足です。シークワサー等の農作物の栽培・収穫作業のほか、加工工場でも仕事も求人が出てることが多いです。 ③サービス業:数はあまり多くないですが、飲食店や宿、道の駅などもあり、こちらも人手不足で求人が出ていることが結構あります。
1/13	1/14	初回	大宜味村の求人について	<ul style="list-style-type: none"> 1)大宜味村、及び近隣市町村での民間企業の求人 ・観光バスの運転手 ・建設関連のトラック運転手 ・給油所の配送運転手 (2)大宜味村役場職員の募集 ・会計年度任用職員 ・集落支援員 ・こども園等の送迎バス運転手 (3)その他 ・農業、畜産業、観光業、介護職員等 <p>大宜味村に住みながら、周辺の市町村(名護市、国頭村、東村、今帰仁村、本部町など)で働いている方も多い。</p>
1/14	1/14	追加	大宜味村の家賃相場について(夫婦2人)	<p>家賃相場は ・1LDKで4万円台~ ・村営住宅 2~3万円程度(入居条件あり) ※どちらも基本的に駐車場1台分付き。</p> <p>一軒家(空き家等)を借りた場合の家賃に関しましては、所有者との直接交渉。 現状、アパートや一軒家の賃貸物件の空き情報は、インターネット上にはほとんど掲載されていない。詳しい空き家情報は役場まで。</p>
1/21	1/22	初回	大宜味村の冬の服装について	<p>○昼:長袖の人が多く、寒さに強い人は半袖の人もある。 ○夜:長袖のセーターやトレーナーで、薄手のジャケットを羽織っている人が多い。寒い日(風が強い日)は、ダウンジャケット等を着ている人もいます。</p>
1/24	1/26	初回	大宜味村のマリンアクティビティについて	<p>・時期はほぼ通年。 ・ただし、12月~1月は寒い日や波が高い日も多いため、できない日も多い。 ・公式に指定されている場所ではないため、皆さん自己責任で楽しませてもらっています。</p> <p>その他、体験ツアー等もあるため要問合せ。</p>
2/13	2/16	初回	大宜味村への移住検討 ・高齢者でも受入れ可か? ・売店の有無 ・バスについて ・賃貸物件の有無 ・地域交流や挨拶まわりについて など	<p>【①高齢者の受入れ/住居の賃貸物件】 大宜味村は長寿の村なので60代・70代でも若手と言われるような地域です。住居さえ見つければ、移住は可能だが、空き物件がかなり少ない。</p> <p>【②地域の売店について】 大宜味村にスーパーは無い為、細かい日用品が必要な場合は隣村の名護市内のスーパーに行く形になる。いくつかの集落には共同売店という小さな商店もあり、ちょっとした日用品や食料品であれば購入可能。</p> <p>ただ、集落によってはお店がほぼ無い集落もあるので、その場合は車等で買い物に行く必要がある。</p> <p>【③名護までのバス】 あるが本数はあまり多くないことや、主要道路の58線沿いのみバス停があるので、集落や住む場所によってバス停までの距離がかなり遠くになってしまう場合がある。</p> <p>【④地域の方々の交流/挨拶まわり】 地域内の行事ごとや集まりも多いので、移住者にも積極的に関わって頂きたい。</p>
2/20	2/24	初回	・完全移住に関する問い合わせが多いのか ・部分移住について ・貸農園の制度はあるのか	<p>【移住の問い合わせについて】 完全移住の問い合わせが多いですが、部分移住の問い合わせも時々あります。</p> <p>【貸農園について】 大宜味村では公営の貸農園の制度はない。</p> <p>【大宜味村内での就農について】 個々の農家さんへの、季節的な農業手伝い(アルバイト等)はあるが、ほとんどの場合、ご近所の人たちで声をかけ合って手伝ってくれる方を探している。</p>

2-2-2.石垣市での展開

石垣市では、市の移住定住促進事業受託者であり、県移住定住促進事業でも中間支援組織として連携している一般社団法人ゆんたくガーデンと連携した。

(1) 研修

- ・ 実施日:令和 7 年 12 月 11 日(木) 14:00~15:00
- ・ 参加者:ナビゲーター1名
- ・ 実施内容: LINE 公式アカウントの運用方法について

(2) プラットフォーム運営

- ・ 運営開始日:令和 8 年 1 月 9 日(金) ※後述の宮古島と同じ記事にて告知
- ・ 告知メディア:おきなわ島ぐらし
- ・ SNS 広告 ※後述の宮古島と同じ広告
期間:1月15日(木)~2月24日(火)
リーチ:18,500 ページビュー:2,006

<告知>

 <p>【宮古島・石垣島】島暮らしのあれこれ。先輩が1冊で伝えている『島ぐらしナビゲーター』の島内版スタート！</p> <p>『島ぐらしナビゲーター』の島内版</p> <p>1. 島暮らしのあれこれのあれこれ</p> <p>2. 島暮らしのあれこれのあれこれ</p>	<p>■ 島内版の告知に繋がります！2冊目の告知記事</p> <p>1. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>2. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>3. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>4. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>5. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>6. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>7. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>8. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>9. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>10. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>11. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>12. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>13. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>14. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>15. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>16. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>17. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>18. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>19. 【宮古島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p> <p>20. 【石垣島】「島ぐらしナビゲーター」の告知記事の告知。島内版の告知記事</p>
--	---

<SNS 広告>

おきなわ島ぐらし

海のきれいな島に移住したいけれど、石垣島と宮古島、どっちが自分に合っているんだろう？ 「仕事はある？ 家賃は高くない？」

移住が「リアル」なLINEで気軽に相談

鳥ぐらしナビゲーター

宮古島 石垣島

okinawa-ju.jp

【石垣島・宮古島】島暮らしのあれこれ、 -

詳しくはこちら

シェア3件

いいね! コメントする シェアする

移住が「リアル」なLINEで気軽に相談

鳥ぐらしナビゲーター

宮古島 石垣島

海のきれいな島に移住したいけれど、石垣島と宮古島、どっちが自分に合っているんだろう？

詳しくはこちら

(3) 相談内容まとめ

実績:18名 相談件数計:延べ31件

質問日	対応日	初回/追加	相談内容概要 (相談者からの質問)	回答概要 (島ぐらしナビゲーターからの回答)
1/19	1/19	初回	保育園などは入れる状態ですか？	認定こども園の状況を報告。
1/19	1/19	追加	移住体験など何か支援等がありますか	オーダーメイド型移住体験ツアーの説明。
1/19	1/19	追加	ツアーが短いのではないかと	リクエストの内容で2泊3日に延長も可能。
1/21	1/21	初回	冬の服装について教えてください	北風が強く体感的に寒いのでフリースやダウンジャケット必要。
1/21	1/21	初回	冬の光熱費について教えてください	電気・ガス・水道の使い方による目安を説明。
1/21	1/21	初回	冬の服装について教えてください	北風が強く体感的に寒いのでフリースやダウンジャケット必要。
1/23	1/23	初回	冬の休日の過ごし方について	風が強いのでお家で休養。冬場のイベントに参加。
1/23	1/23	初回	体験移住なら何処のウィークリーがよいか	登野城・大川辺りを推薦。→LINE退出
1/27	1/28	初回	移住の際、補助金などは利用できますか？	保育士さんと看護師さんのみに渡航支援金。
1/28	1/28	追加	保育士資格あり	担当課「子育て支援課」の情報を提示。
1/31	1/31	初回	安価な猫可能な物件はないか？	ペット可物件は争奪戦。要不動産やめぐり。
1/31	1/31	初回	ホテルに勤めている方はいますか？	ハローワーク八重山で探すことを推奨。
2/2	2/2	初回	補助金など行政の支援はありますか？	保育士・看護師のみ渡航支援金。戸建て修繕費の説明。
2/3	2/3	初回	物件の探し方	一度来島されて不動産屋めぐりを推奨。
2/3	2/3	追加	小学校の学区	教育部 学務課 学務係を提示。後日面談。
2/5	2/5	初回	西表への移住相談も受け付けていますか？	竹富町政策推進課を提示 →LINE退出。
2/8	2/9	初回	仕事の探し方	ハローワーク八重山・FB「石垣市求人情報」を提案。
2/9	2/9	追加	弊社や市役所様に立ち寄る際の注意点は	個別移住相談案内
2/14	2/14	初回	住むところ探しています。相談先のベストは？	ネットと住居探しのコツ、セミナー参加を勧める。
2/14	2/14	追加	市営県営住宅は？。うまく確保する方法は？。	市営県営申込先紹介。
2/14	2/14	追加	カビが気になるエアコン回しっぱなしか？	夏場は除湿で入れっぱなしのことが多いです。
2/16	2/16	追加	①車は必要か？。皆さん足はどうしてますか？ ②賃貸物件探すタイミング	①中古の軽自動車は30万程で購入可。②10月11月が穴場時
2/19	2/20	追加	バイク中古などは安く買えますか？	バイク店3店舗の情報を提供
2/19	2/20	初回	石垣島で仕事を探したい	ハローワーク八重山・FB「石垣市求人情報」を提案。
2/21	2/21	初回	直ぐ移住ではない	弊社HPをご案内
2/26	2/26	初回	①移住した理由 ②移住して良かった点 ③実際住んでみて予想と違った点	個人と一般に分けて回答。①気候・自然・介護 ②温暖・自然・便利 ③湿気・道/交通機関が不便・物が届くのが遅い・業務が遅い
2/26	2/26	追加	体験ツアーは今年もあるか？	現在未定
2/27	2/27	追加	家電、家具購入おすすめ店	家電EDION。家具メイクマンを提案。
2/27	2/28	初回	食品や日用品の価格と入手具合	大概手に入るが東京並みか若干高め
2/27	2/28	追加	よそ者扱いがあるか、地域行事への参加程度	よそ者扱いは殆ど感じない。地域によって行事参加の有無がある
2/28	2/28	追加	①事前に東京で購入し準備した方が良いもの ②引越し費用	①大半の物は現地で手に入る ②家電家具は現地で購入。必要なものだけ宅急便で先送りすれば安く済む。

2-2-3.宮古島市での展開

宮古島市では、市担当者と相談の上、プロモーションうるまが過去に移住定住事業に関わっていた2名を推挙した。

(1) 研修

- ・ 実施日:令和7年12月22日(月)10:30~12:00
- ・ 参加者:ナビゲーター2名
- ・ 実施内容:移住相談の基礎知識、LINE公式アカウントの運用方法について

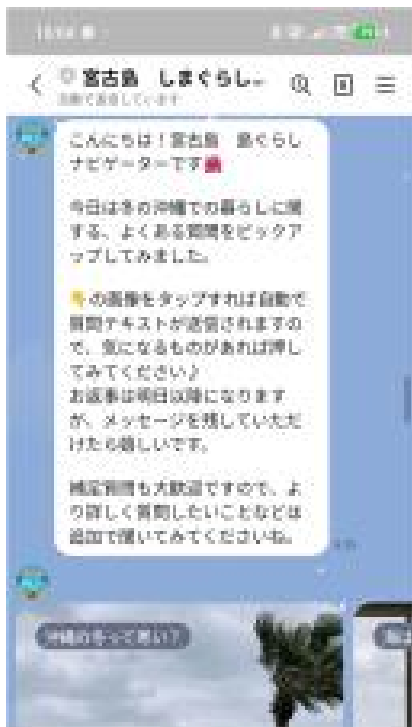
(2) プラットフォーム運営

※石垣市と併せて1つの記事で告知、宣伝を行っているため、同内容

- ・ 運営開始日:令和8年1月9日(金)
- ・ 告知メディア:おきなわ島ぐらし
- ・ SNS 広告
期間:1月15日(木)~2月24日(火)
リーチ:18,500 ページビュー:2,006

(3) プッシュ通知(メッセージ)

質問を誘導するために、1回実施



(4) 相談内容まとめ

実績:8名 相談件数計:延べ13件

質問日	対応日	初回／追加	相談内容概要 (相談者からの質問)	回答概要 (島ぐらしナビゲーターからの回答)
1/27	1/28	初回	職業と金銭面	仕事…正社員の募集はある。観光だけでなく事務、介護福祉、保育、医療等も。生活費…実際に高いこともあるが、地元でも安くあげる工夫などはある。
1/25	1/26	初回	移住の補助金について	宮古島市で移住に対する補助金が無いことを踏まえて、沖縄県全体の制度や支援内容をまとめたガイドブックを紹介。
1/27	1/30	追加	保育士有資格者である。一番困ったことは？	現在「家探し」が困難な状況である。保育士は需要があるので、求人を出している保育園に直接問合せを薦めた。
1/30	1/31	初回	2/1からリゾバで4か月滞在する。移住候補地として検討	「お試し移住」として、4か月間でどこなところに注目するかのアドバイス
1/31	2/3	追加	リゾートバイト先は東急リゾートである	東急リゾートで働いていた先輩移住者のコメントを伝えた
2/3	2/3	追加	2/6が初の休日で自転車でお出かけ予定	東急リゾート近くの穴場ビーチをご紹介します
2/13	2/13	追加	お薦めしたビーチに行ったという写真での報告。空き家バンクについて	宮古島の住宅家賃高騰について
2/13	2/16	追加	来間、伊良部、池間大橋は自転車で渡れるか？	自転車通行可能だが渡る際の注意点、来間島のお薦めをアドバイス
2/17	2/18	初回	宮古島で働く際の「かりゆしウェア」について	宮古島で購入できるお店や通販と靴の着用についてアドバイス
2/21	2/22	初回	沖縄への車両輸送について	車両輸送に関するアドバイス
2/21	2/22	初回	宮古島移住について	質問の方法、運用期間の案内
2/20	2/24	初回	住居／仕事・物価／通学／コミュニティ	住居…住宅不足が深刻、家賃も高い 仕事・物価…仕事は観光、医療・福祉、建設が中心。繁忙期で差が大きい。物価は食料品日用品が輸送コストの影響で高め。 通学…郊外地域ならバス通学が親の送迎。中心部なら自力で通う。 コミュニティ…地域の繋がりは強めだが、地域毎にも依る。特に中心部は都会的。

2-2-4.総括

- LINE 公式アカウントは相談プラットフォームとして結果的に最適であったと言える。登録までのハードルが低いため、特に石垣では短期間で多くの方の登録に繋がった。
- 過去に他事業で移住相談対応をしていただいた方だけでなく、新たな「先輩移住者」の発掘と実践経験に繋がったことも大きい
- 課題としては、登録から相談までのハードルが少々高くなっていること。LINE 公式アカウント自体が「まずは登録する」という心象で利用している人が多いサービスであるため、非アクティブな方の登録も多い。プッシュ通知など相談を増やすための施策も実施はしていたが、相談に繋がる確率(コンバージョン)はあまり大きく変わらない可能性があるため、そもそもの登録人数を増やすことが重要。
- 「気軽なプラットフォーム」として運用はしていたが、相談を受けた方は下手なことは言えないと、かなり細かく調べて対応するケースも多かった。当初の仕様で掲げている理想と、現実の運用でのギャップが見えた。

2-3. 関係人口等とのワークショップ等の開催

ワークショップは集合型プログラムとして実施した伊平屋村・久米島町・多良間村の各プログラム最終日に実施した。各プログラムにおける参加者の反応については、前項の事後アンケート等に記載。

具体的な実施日および参加人数まとめは以下の通り

実施地域	実施日	参加人数
伊平屋村	令和7年11月24日	2名
久米島町	令和7年12月7日	5名
多良間村	令和8年2月23日	3名

(1) 伊平屋村（実施場所:伊平屋村役場）

今回のプログラムで「印象に残った体験」や「想像していた農業とのギャップ」などをそれぞれ個別に振り返り、書き出した後に、全体で発表・共有し、役場職員の説明も加え、さらに理解を深めた。



(2) 久米島町（実施場所:久米島ホテルドーム グラウンド脇東屋）

参加者とスタッフ、また島ぐらしコンシェルジュのHさんとMさん、移住予定者のKさんがオブザーバーとして参加。今回のツアーの振り返りを行った。内容は、4つの問いについて、個人ワークを行い、その後全員で共有、対話を行った。

久米島未来デザインの旅（2025/12/5～7）

① 一番印象に残った 体験は？	② 農家さんや島民との 交流で心に残った エピソードは？
-----------------------	---------------------------------------

久米島未来デザインの旅（2025/12/5～7）

③ 久米島と今後 どんな関わり方が できそうですか？ （可能性）	④ ③を進めるにあたり 始められそうな 具体的なアクション は何ですか？
--	--



(3) 多良間村（実施場所:すまむぬ多良間）

参加者3名とローカルパートナーのみで、この3日間のプログラムについて振り返りを行った。プログラム実施順に内容を確認するとともに、どのような感想を持ったか、ご自身が移住を考えた際にどのようなことがハードルになりそうなのかを話し合った。終盤には先輩移住者のKさんが合流し、改めてKさんより多良間島の暮らしについてお聞きしたうえで、解散した。



2-4. PR 等の効果検証

2-4-1.各項目ごとの検証

①PR 動画および記事の制作・発信

- 合計 8 本以上の動画・記事作成という目標値に対して、4 地域ずつ動画・記事作成を達成した。
- 今まで他事業含め先輩移住者として取り上げていなかった地域(特に島しょ地域)での取材、掲載を行ったことで、県内各地域の移住に関する情報を広く集めることができ、記事・動画の視聴者にとっても有益な情報提供となった。
- Web 掲載だけでなく広告配信を行うことで、広く記事を周知することが出来た
(リーチ:77,195 名のリーチ クリック:4527 件)

②WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等

- 当初の想定通り、高齢者見守り支援サービスの利用者記事を作成し、記事掲載を行うことが出来た
- 県内に限定した広告を実施したことで、広くサービスの存在を知らしめることが出来た
(リーチ:13,395 クリック:657)

③2地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施

- 過去の移住事業・しまっちゃんぐ事業でのプログラム運営者だけでなく、各自治体とも相談しながら新たにプログラム運営を担える方を探し出し、最終的に 5 地域でのプログラム実施を達成した
- 5 地域合計で 21 名(延べ 22 名)がプログラムに参加し、うち 13 名が移住希望もしくは 2 地域居住希望という結果となった。
- 今年度は 3 地域で集合型、2 地域でオーダーメイド型のプログラム実施となったが、1プログラムあたりの参加者はオーダーメイド型のほうが多く、参加のハードルが低かったことが伺える。一方でテーマを絞った集合型は移住希望に繋がる確率が高く、それぞれの特徴が明確に出たと見える。

2-4-2.次年度以降のターゲット設定等への分析

①PR 動画および記事の制作・発信に関して

- 今年度の結果から鑑みるに、今後も先輩移住者記事・動画については県内幅広い地域での取材対象者を募集していく事が重要である。特に離島・過疎地域の活性を目的としていることから、離島・過疎地域ならではの暮らしについての内容を中心としたヒアリングが重要と考える。

②WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信に関して(高齢者見まもり支援サービス)

- 今年度も過年度同様に大宜味村の事例を取り上げたが、広くサービスを周知し、本サービス導入検討者にとって自地域での導入可能性を理解してもらうことを目的とするならば、より広い地域での取材が求められる。

③2地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施

- 移住・2 地域希望者についてKPIを達成できた要因として、オーダーメイド型と集合型の 2 種類のツアーを地域の実情に合わせて展開出来たことが重要であると考ええる。
- また、プログラム運営者の人となりに触れることで移住・2 地域居住への気持ちが上がっていることもアンケートや同行時の反応から察せられるため、プログラム運営者がモチベーション高くプログラムを運営出来ることは最終的な結果に繋がりがやすい。

- 今後も地域の実情に合わせ、プログラム運営に弾力性を持たせることが、参加者および移住・2 地域居住希望者の増加に繋がると考えられる。

第 3 章 事業全体総括

第3章 事業全体総括

3-1. 総括

本事業は、沖縄県の離島・過疎地域においてデジタル技術を活用した移住定住プロモーションを展開し、中短期滞在を通じた関係人口の創出や、先輩移住者を活用したきめ細やかな相談・受入体制を構築することにより、移住・定住の促進を図ることを目的に実施された。具体的には、以下の主要な施策を通じて移住定住条件の整備とプロモーションが展開された。

第一に、デジタル媒体等を活用した各種 PR の実施である。移住検討者が離島・過疎地域での生活を具体的にイメージできるよう、過去の事業で取り上げていない地域を中心とした先輩移住者や2地域居住実践者をモデルとした動画4本・記事4本の計8本を制作し、Web媒体「おきなわ島ぐらし」やSNS広告を通じて広く発信した。また、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備の一環として、高齢者見まもり支援サービスの導入に関する記事も作成・配信し、安心な暮らしのPRを行った。これらの情報発信に広告配信を掛け合わせることで、広く記事を周知することに成功している。

第二に、関係人口創出のためのモニターツアーの実施である。伊平屋村、伊是名村、大宜味村、多良間村、久米島町の5地域において、テーマを絞った「集合型」と個別のニーズに応える「オーダーメイド型」のツアーを実施した。全体で21名(延べ22名)が参加し、うち13名が移住や2地域居住を希望するという成果を上げた。地域の日常に触れるプログラムや地域コーディネーターの尽力により、参加者から高い満足度を獲得している。集合型プログラムの最終日(伊平屋村、久米島町、多良間村)には、参加者や地域住民を交えたワークショップを開催し、プログラムの振り返りや対話を行った。

第三に、先輩移住者を活用した相談・受入体制の構築である。大宜味村、石垣市、宮古島市において、LINE公式アカウントを活用した相談プラットフォームを構築した。自治体が認定した中間支援組織や民間事業者が「島ぐらしナビゲーター」として対応することで、公的窓口では得られにくいリアルな情報を気軽に相談できる環境を整備した。

総じて、デジタル広報による広い認知獲得から、モニターツアーによる深い地域体験、そしてLINEを活用した継続的な相談体制の構築まで、検討段階に応じた多角的なアプローチが実現し、関係人口の拡大と移住意欲の向上に大きく貢献したと評価できる。

3-2. 今後の展望

本事業の単独事業としての実施は今年度までであり、次年度以降、独立した事業としては実施されない。しかし、本事業で得られた知見や構築されたネットワークは、今後の沖縄県の移住定住施策において重要な財産となる。今後の展望として、以下の点が挙げられる。

まず、モニターツアー等を通じて移住意欲が高い層が確実に存在することが実証された一方で、大宜味村や久米島町などで顕著であったように、受け入れ可能な「住居の確保」が最大のボトルネックであることが浮き彫りになった。今後は、集約先の移住定住促進施策や行政の取り組みにおいて、地域側が希望する

ような層を受け入れるための住環境整備に向けた具体的なサポート体制の構築が急務である。

また、参加ハードルが低い「オーダーメイド型」と、熱量の高い層が集まる「集合型」のツアーを地域の実情に合わせて柔軟に展開したことは非常に有効であった。さらに、LINE を用いた相談窓口は手軽で登録されやすい反面、実際の相談行動へ至る仕掛けづくりに課題を残した。

今後は、これらの事業を通じて新たに発掘された「島ぐらしナビゲーター」や地域コーディネーターなどの地域人材のモチベーションを維持・活用しつつ、他事業の枠組みのなかでも離島・過疎地域ならではのリアルな暮らしの魅力を継続的に発信し、多様な関係人口の創出へと繋げていくことが期待される。

令和7年度 離島・過疎地域づくりDX促進による
移住定住PR等事業委託業務 実施報告書

発行：沖縄県 企画部 地域・離島課
受託事業者：一般社団法人プロモーションうるま
発行年月：令和8年3月